

[様式6]

財団法人 大学基準協会

2010(平成22)年度「大学評価」申請用

大学基礎データ

平成21年5月

北海道文教大学

大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「大学基礎データ」は、原則として「大学評価」申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表の注において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
本様式は、2010（平成22）年度申請用に作成していますので、特に注記がない場合、2009（平成21）年5月1日が作成標準日となります。
- 2 「大学基礎データ」は、A4判で作成してください。全体に通しページを付し、目次を作成してください。
- 3 表紙には、申請年度と大学名を明記してください。
- 4 専任教員に関するデータの作表にあたっては、「IV 教員組織 1 全学の教員組織（表19）」を基本とし、同表に専任として記載した学部、大学院研究科等ごとにその後の表を作成してください。
- 5 「IV 教員組織 2 専任教員個別表（表20）」が大部になる場合は、「大学基礎データ」と別冊にしても結構です。
- 6 「専任教員の教育・研究業績」については大学・学部等の固有の業績一覧の提出を原則とします。大学で固有の業績一覧を作成していない場合は、本「大学基礎データ（様式）」の（表24）および（表25）を参考に作表してください。
また、この業績一覧は、「大学基礎データ」とは**別冊**にしてください。
- 7 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、**特に指示のない限り**小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 8 該当しない表がある場合は、その表のタイトルと表番号のみを記入し、「該当なし」と注記してください。なお、作成しない表があっても各表の右上に付された表番号は変更しないでください。
【例】 「7 国家試験合格率（表9）」
 該当なし
- 9 各表において、記入すべき数値が無い場合は、空欄とせず、「-」（ハイフン）を記入してください。
- 10 各表に付されている脚注は消去しないでください。

なお、本「大学基礎データ」（様式）は、大学基準協会のホームページ（<http://www.juaa.or.jp>）から入手できます。

目 次

	頁
I 教育研究組織	
1 (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年5月1日現在)	1
2 (表2) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在)	2
II 教育内容・方法等	
1 (表3) 開設授業科目における専兼比率	4
2 (表4) 単位互換協定に基づく単位認定の状況	該当なし 18
3 (表5) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況	19
4 (表6) 卒業判定	20
5 (表7) 大学院における学位授与状況	21
6 (表8) 就職・大学院進学状況	22
7 (表9) 国家試験合格率	23
8 (表10) 公開講座の開設状況	24
9 (表11) 学生の国別国際交流	25
10 (表12) 教員・研究者の国際学術研究交流	該当なし 26
III 学生の受け入れ	
1 (表13) 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移	27
2 (表14) 学部・学科の学生定員及び在籍学生数	37
3 (表15) 学部の入学者の構成	38
4 (表17) 学部・学科の退学者数	40
5 (表18) 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数	41
6 (表18-2) 法科大学院の学生定員及び在籍学生数	該当なし 42
7 (表18-3) 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移	43
8 (表18-4) 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移	該当なし 45
IV 教員組織	
1-1 (表19) 全学の教員組織	46
1-2 (表19-2) 学部の教員組織	47
1-3 (表19-3) 研究科の教員組織 (専門職大学院を除く)	49
1-4 (表19-4) 専門職大学院の教員組織	該当なし 50
1-5 (表19-5) 事務組織	51

2	(表20) 専任教員個別表		52
3	(表21) 専任教員年齢構成		77
4	(表22) 専任教員の担当授業時間		78
5	(表23) 専任教員の給与		82
V 研究環境			
1	(表24) 教員の教育・研究業績	別途作成	—
2	(表25) 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	別途作成	—
3	(表29) 専任教員の研究費 (実績)		83
4	(表30) 専任教員の研究旅費		84
5	(表31) 学内共同研究費		85
6	(表32) 教員研究費内訳		86
7	(表33) 科学研究費の採択状況		88
8	(表34) 学外からの研究費		89
9	(表35) 教員研究室		90
VI 施設・設備等			
1	(表36) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積		91
2	(表36-2) 主要施設の概況		92
3	(表37) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模		93
4	(表38) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模		95
5	(表40) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表		97
VII 図書・電子媒体			
1	(表41) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況		100
2	(表42) 図書館利用状況		101
3	(表43) 学生閲覧室等		102
VIII 学生生活			
1	(表44) 奨学金給付・貸与状況		103
2	(表45) 学生相談室利用状況		104
IX 財務 (私立大学のみ)			
1-1	(表46) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの)		105
1-2	(表46-2) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの)		106
2	(表47) 貸借対照表関係比率		107
X 情報公開・説明責任			
1	(表48) 財政公開状況 (私立大学のみ)		108

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年5月1日現在）

(表1)

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
外 国 語 学 部			
英米語コミュニケーション学科	平成11年4月1日	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	
中国語コミュニケーション学科	平成11年4月1日		
日本語コミュニケーション学科	平成11年4月1日		
人 間 科 学 部			
健康栄養学科	平成15年4月1日	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	
理学療法学科	平成18年4月1日		
作業療法学科	平成19年4月1日		設置届けにより開設
看護学科	平成20年4月1日		設置届けにより開設
グローバルコミュニケーション研究科			
言語文化コミュニケーション専攻	平成15年4月1日	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。
 2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。
 3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。
 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならない記載してください。
 5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2010年4月1日現在）

（表2）

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
外国語学部	英米語コミュニケーション学科	150	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	2010年4月募集停止
	中国語コミュニケーション学科	120	同上	2010年4月募集停止
	日本語コミュニケーション学科	150	同上	2010年4月募集停止
	国際言語学科（※1）	100	同上	2010年4月受け入れ開始
人間科学部	健康栄養学科	600	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	
	理学療法学科（※2）	320	同上	2006年4月受け入れ開始
	作業療法学科（※1）	160	同上	2007年4月受け入れ開始
	看護学科（※1）	240	同上	2008年4月受け入れ開始
	こども発達学科（※1）	80	同上	2010年4月受け入れ開始
グローバルコミュニケーション研究科	言語文化コミュニケーション専攻	10	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	2007年4月名称変更
		(1,930)		

- [注] 1 申請年（2010年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含まず）。
- 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
- 3 申請年度（2010年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に（ ）でその旨を明記してください。
- 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度+1年）を経していない学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受け入れ年月を記入してください。
- 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。

8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率（前期）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
外国語学部 平成18～19年度 入学者	英米語 コミュニケーション 学科	英米教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	9	0	23	
			兼任担当科目数（B）	1	0	4	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.0%	0.0%	85.2%	
	中国語 コミュニケーション 学科	中国教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	6	0	26	
			兼任担当科目数（B）	0	0	0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%	
	日本語 コミュニケーション 学科	日本教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	2	0	23	
			兼任担当科目数（B）	1	0	4	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7%	0.0%	85.2%	
	教養教育 総合教育科目・共通専門科目			専任担当科目数（A）	0	13	29.3
				兼任担当科目数（B）	0	16	32.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	44.8%	47.3%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 - ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率（前期）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
外国語学部 平成20年度入学者	英米語 コミュニケーション 学科	英米教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	9	0	14	
			兼任担当科目数（B）	1	0	2	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.0%	0.0%	87.5%	
	中国語 コミュニケーション 学科	中国教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	6	0	16	
			兼任担当科目数（B）	0	0	0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%	
	日本語 コミュニケーション 学科	日本教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	2	0	20	
			兼任担当科目数（B）	1	0	3	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7%	0.0%	87.0%	
	教養教育 総合教育科目・共通専門科目			専任担当科目数（A）	0	13	28.3
				兼任担当科目数（B）	0	18	32.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	41.9%	46.4%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 - ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率（前期）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
外国語学部 平成21年度入学者	英米語 コミュニケーション 学科	英米教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	7	0	7	
			兼任担当科目数（B）	0	0	0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%	
	中国語 コミュニケーション 学科	中国教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	4	0	7	
			兼任担当科目数（B）	0	0	0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%	
	日本語 コミュニケーション 学科	日本教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	2	0	10	
			兼任担当科目数（B）	1	0	2	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7%	0.0%	83.3%	
	教養教育 総合教育科目・共通専門科目			専任担当科目数（A）	0	5	9.3
				兼任担当科目数（B）	0	15	19.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	25.0%	32.1%

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人間科学部 平成21年度入学者	健康栄養学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	27	0	30.3
			兼任担当科目数 (B)	3	0	4.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.0%	0.0%	86.6%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	5	0	11
			兼任担当科目数 (B)	4	0	7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	55.6%	0.0%	61.1%
	理学療法学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	24.5	0	25.5
			兼任担当科目数 (B)	8.5	0	8.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	74.2%	0.0%	75.0%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	2	0	10
			兼任担当科目数 (B)	2	0	4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	50.0%	0.0%	71.4%
	作業療法学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	25	0	27
			兼任担当科目数 (B)	3	0	3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	89.3%	0.0%	90.0%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	3	0	12
			兼任担当科目数 (B)	1	0	3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75.0%	0.0%	80.0%

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人間科学部 〔平成21年度入学者〕	看護学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	17	0	17
			兼任担当科目数 (B)	0	0	0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	3	0	10
			兼任担当科目数 (B)	2	0	4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	60.0%	0.0%	71.4%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率（後期）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
外国語学部 平成18年度～19年度 入学者	英米語 コミュニケーション 学科	英米教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	9	0	25	
			兼任担当科目数（B）	1	0	1	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.0%	0.0%	96.2%	
	中国語 コミュニケーション 学科	中国教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	6	0	26	
			兼任担当科目数（B）	0	0	0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%	
	日本語 コミュニケーション 学科	日本教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	1	0	19	
			兼任担当科目数（B）	0	0	5	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	79.2%	
	教養教育 総合教育科目・共通専門科目			専任担当科目数（A）	0	10	23.3
				兼任担当科目数（B）	0	5	15.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	66.7%	59.7%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 - ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率（後期）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目		
外国語学部 平成20年度入学者	英米語 コミュニケーション 学科	英米教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	9	0	15	
			兼任担当科目数（B）	1	0	1	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.0%	0.0%	93.8%	
	中国語 コミュニケーション 学科	中国教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	6	0	19	
			兼任担当科目数（B）	0	0	0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%	
	日本語 コミュニケーション 学科	日本教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	1	0	17	
			兼任担当科目数（B）	0	0	13	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	56.7%	
	教養教育 総合教育科目・共通専門科目			専任担当科目数（A）	0	10	20.3
				兼任担当科目数（B）	0	5	14.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	66.7%	58.0%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 - ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率（後期）

（表3）

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
外国語学部 平成21年度入学者	英米語 コミュニケーション 学科	英米教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	7	0	7
			兼任担当科目数（B）	0	0	0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
	中国語 コミュニケーション 学科	中国教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	4	0	7
			兼任担当科目数（B）	0	0	0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
	日本語 コミュニケーション 学科	日本教育 学科専門科目	専任担当科目数（A）	1	0	9
			兼任担当科目数（B）	0	0	12
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	42.9%
	教養教育 総合教育科目・共通専門科目		専任担当科目数（A）	1	5	9
			兼任担当科目数（B）	0	5	9
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	50.0%	50.0%

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人間科学部 平成21年度入学者	健康栄養学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	23.5	0	27.5
			兼任担当科目数 (B)	6.5	0	8.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	78.3%	0.0%	76.4%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	5	0	11
			兼任担当科目数 (B)	4	0	8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	55.6%	0.0%	57.9%
	理学療法学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	26	0	30.2
			兼任担当科目数 (B)	4	0	4.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	86.7%	0.0%	86.3%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	3	0	14
			兼任担当科目数 (B)	5	0	7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	37.5%	0.0%	66.7%
	作業療法学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	28.7	0	31.7
			兼任担当科目数 (B)	3.3	0	3.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	89.7%	0.0%	90.6%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	4	0	10
			兼任担当科目数 (B)	5	0	6
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	44.4%	0.0%	62.5%

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人間科学部 平成21年度入学者	看護学科	専門教育 専門基礎科目 専門科目	専任担当科目数 (A)	23	0	23
			兼任担当科目数 (B)	3	0	3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	88.5%	0.0%	88.5%
		教養教育 教養科目	専任担当科目数 (A)	5	0	10
			兼任担当科目数 (B)	3	0	4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	62.5%	0.0%	71.4%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

該当なし

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
外国語学部	英米語コミュニケーション学科	61	156	28	0	0	3.0
	中国語コミュニケーション学科	15	260	48	0	0	20.5
	日本語コミュニケーション学科	7	2	12	0	0	2.0
計		83	418	88	0	0	6.1
人間科学部	健康栄養学科	44	0	44	0	0	1.0
	理学療法学科	1	0	6	0	0	6.0
	作業療法学科	0	0	0	0	0	0.0
	看護学科	1	0	11	0	0	11.0
計		46	0	61	0	0	1.3
合 計		129	418	149	0	0	4.4

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。
ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成19年文部科学省告示第146号）に定められた学修を記載してください。
- 3 2008年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生はここには含めないでください。

4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2006年度			2007年度			2008年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
外国語学部	英米語コミュニケーション学科	90	73	81.1	64	52	81.3	52	39	75.0
	中国語コミュニケーション学科	33	22	66.7	28	24	85.7	37	27	73.0
	日本語コミュニケーション学科	58	40	69.0	48	36	75.0	58	35	60.3
計		181	135	74.6	140	112	80.0	147	101	68.7
人間科学部	健康栄養学科	100	98	98.0	161	156	96.9	159	128	80.5
計		100	98	98.0	161	156	96.9	159	128	80.5

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻			2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
グローバルコミュニケーション研究科	言語文化コミュニケーション専攻	修士博士(前期)	—	—	15	11	10	2	15	7	16	8	2003年4月開設
		博士(課程)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表8)

学 部	進 路	2006年度	2007年度	2008年度	
外国語学部	就職	民間企業	82	78	61
		官公庁	2	4	3
		教員	5	4	4
		上記以外	1		1
	進学	自大学院	5	1	7
		他大学院	3	1	
		その他	7	6	7
	そ の 他	30	18	18	
合 計	135	112	101		
人間科学部	就職	民間企業	83	108	87
		官公庁	3	2	6
		教員	0	6	4
		上記以外	0		
	進学	自大学院	0		
		他大学院	2	2	1
		その他	2	2	2
	そ の 他	8	36	28	
合 計	98	156	128		

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（その他）」欄に記入してください。

7 国家試験合格率

(表9)

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100
人間科学部 健康栄養学科	管理栄養士国家試験	110	55	50%
人間科学部 理学療法学科	理学療法士国家試験	—	—	—
人間科学部 作業療法学科	作業療法士国家試験	—	—	—
人間科学部 看護学科	看護師国家試験 保健師国家試験	—	—	—

[注] 1 たとえば 「医師国家試験」「薬剤師国家試験」「管理栄養士国家試験」などのように、当該学部・学科等の教育と関連の深い国家試験について記載してください。

8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備考
		2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
	外国語学部	8	1	1	300	25	25	158	27	14	19.8	27.0	14.0	
	人間科学部	9	6	7	800	590	570	306	186	177	34.0	31.0	25.3	
	計	17	7	8	1,100	615	595	464	213	191	27.3	30.4	23.9	

[注] 1 ここでいう公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。

2 シンポジウム、講演会は含めないでください。

9 学生の国別国際交流

(表11)

国名 学部・研究科	オーストラリア		中華人民共和国		ロシア連邦共和国		台湾(中国)				その他		合計	
	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ
外国語学部	0	0	5	1	0	0	2	4	0	0	0	0	7	5
人間科学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グローバルコミュニケーション研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	5	1	0	0	2	4	0	0	0	0	7	5

[注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。

2 学部・大学院研究科ごとに国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。

3 2009年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

[大学の注]

4 平成20年度実績を記入

5 期間については、年2セメスター制で1セメスター以上留学している学生数とする。

6 派遣については、本学で留学として承認を得ている学生数とし、受け入れについては、正規生を除き留学の資格で受入れた学生数とする。

該当なし

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2005～2009年平均)	
外国語学部	英語コミュニケーション学科	一般入試	志願者	62	60	43	47	59	
			合格者	59	58	42	46	58	
			入学者(A)	22	26	17	12	19	
			入学定員(B)	50	25	25	20	20	
			A/B*100	44.0	104.0	68.0	60.0	95.0	
		AO入試 (OC入試)	志願者	0	1	2	5	2	
			合格者	0	1	2	5	2	
			入学者(A)	0	1	2	5	2	
			入学定員(B)	0	0	0	5	5	
			A/B*100	不能	不能	不能	100.0	40.0	
		指定校推薦	志願者	17	10	15	5	3	
			合格者	17	9	15	5	3	
			入学者(A)	17	9	14	5	3	
			入学定員(B)	推薦全体で50	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
		公募推薦入試	志願者	6	1	5	0	5	
			合格者	6	1	5	0	5	
			入学者(A)	6	1	5	0	5	
			入学定員(B)	推薦全体で50	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
		一芸一能入試 (自己推薦入試)	志願者	6	9	5	1	1	
			合格者	6	7	5	1	1	
			入学者(A)	6	6	5	1	1	
			入学定員(B)	推薦全体で50	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
		社会人入試	志願者	0	1	0	0	0	
			合格者	0	1	0	0	0	
			入学者(A)	0	1	0	0	0	
入学定員(B)	0		0	0	0	0			
A/B*100	不能		不能	不能	不能	不能			
留学生入試	志願者	2	0	0	1	1			
	合格者	2	0	0	1	1			
	入学者(A)	2	0	0	1	1			
	入学定員(B)	0	0	0	0	0			
	A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能			

(英米語)	帰国生徒入試	志願者	0	0	1	0	0	
		合格者	0	0	1	0	0	
		入学者(A)	0	0	1	0	0	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
	学 科 計	志願者	93	82	71	59	71	67.8
		合格者	90	77	70	58	70	
		入学者(A)	53	44	44	24	31	
		入学定員(B)	100	50	50	50	50	
		A/B*100	53.0	88.0	88.0	48.0	62.0	

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
- 2 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。
- 6 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 7 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年平均）」欄に記入してください。
- 8 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
- 9 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2005～2009年平均)	
外国語学部	中国語コミュニケーション学科	一般入試	志願者	13	17	12	8	8	60.7	
			合格者	12	17	12	8	8		
			入学者(A)	5	11	7	3	5		
			入学定員(B)	25	20	20	15	10		
			A/B*100	20.0	55.0	35.0	20.0	50.0		
		A〇入試 (OC入試)	志願者	1	0	0	2	2		
			合格者	1	0	0	2	2		
			入学者(A)	0	0	0	2	2		
			入学定員(B)	0	0	0	5	5		
			A/B*100	不能	不能	不能	40.0	40.0		
		指定校推薦	志願者	10	13	12	4	4		
			合格者	10	12	12	4	4		
			入学者(A)	10	12	12	4	4		
			入学定員(B)	推薦全体で25	推薦全体で20	推薦全体で20	推薦全体で20	推薦全体で25		
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
		公募推薦入試	志願者	10	4	7	1	1		
			合格者	10	4	7	1	1		
			入学者(A)	10	4	7	1	1		
			入学定員(B)	推薦全体で25	推薦全体で20	推薦全体で20	推薦全体で20	推薦全体で25		
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
		一芸一能入試 (自己推薦入試)	志願者	8	7	8	1	3		
			合格者	7	7	8	1	3		
			入学者(A)	7	7	8	1	3		
			入学定員(B)	推薦全体で25	推薦全体で20	推薦全体で20	推薦全体で20	推薦全体で25		
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
		社会人入試	志願者	0	0	1	0	0		
			合格者	0	0	1	0	0		
			入学者(A)	0	0	1	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
		留学生入試	志願者	1	0	0	0	0		
			合格者	1	0	0	0	0		
			入学者(A)	1	0	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
		帰国生徒入試	志願者	0	0	0	0	0		
			合格者	0	0	0	0	0		
			入学者(A)	0	0	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
		学科計		志願者	43	41	40	16		18
				合格者	41	40	40	16		18
		入学者(A)	33	34	35	11	15			

	入学定員(B)	50	40	40	40	40
	A/B*100	66.0	85.0	87.5	27.5	37.5

(表13)

		入試の種類	合格者		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年平均)
			志願者	合格者						
外 国 語 学 部	日本語コミュニケーション学科	一般入試	志願者		39	41	38	33	37	
			合格者		37	39	37	33	37	
			入学者(A)		14	23	14	16	18	
			入学定員(B)		25	25	25	20	20	
			A/B*100		56.0	92.0	56.0	80.0	90.0	
		AO入試 (OC入試)	志願者		0	0	0	1	3	
			合格者		0	0	0	1	3	
			入学者(A)		0	0	0	1	3	
			入学定員(B)		0	0	0	5	5	
			A/B*100		不能	不能	不能	20.0	60.0	
		指定校推薦	志願者		6	11	7	6	9	
			合格者		6	11	7	6	9	
			入学者(A)		5	11	7	6	9	
			入学定員(B)		推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	
			A/B*100		不能	不能	不能	不能	不能	
		公募推薦入試	志願者		1	5	2	3	1	
			合格者		1	5	2	3	1	
			入学者(A)		1	5	2	3	1	
			入学定員(B)		推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	
			A/B*100		不能	不能	不能	不能	不能	
		一芸一能入試 (自己推薦入試)	志願者		5	7	6	0	0	
			合格者		5	7	6	0	0	
			入学者(A)		5	7	5	0	0	
			入学定員(B)		推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	推薦全体で25	
			A/B*100		不能	不能	不能	不能	不能	
		社会人入試	志願者		0	0	0	0	0	
			合格者		0	0	0	0	0	
			入学者(A)		0	0	0	0	0	
入学定員(B)			0	0	0	0	0			
A/B*100			不能	不能	不能	不能	不能			
留学生入試	志願者		37	8	0	23	15			
	合格者		34	4	0	21	12			
	入学者(A)		31	2	0	10	9			
	入学定員(B)		0	0	0	0	0			
	A/B*100		不能	不能	不能	不能	不能			
帰国生徒入試	志願者		0	0	0	0	0			
	合格者		0	0	0	0	0			
	入学者(A)		0	0	0	0	0			
	入学定員(B)		0	0	0	0	0			
	A/B*100		不能	不能	不能	不能	不能			

(日本語) 学 科 計	志願者	88	72	53	66	65	83.2
	合格者	83	66	52	64	62	
	入学者(A)	56	48	28	36	40	
	入学定員(B)	50	50	50	50	50	
	A/B*100	112.0	96.0	56.0	72.0	80.0	
学 部 合 計	志願者	224	195	164	141	154	69.9
	合格者	214	183	162	138	150	
	入学者(A)	142	126	107	71	86	
	入学定員(B)	200	140	140	140	140	
	A/B*100	71.0	90.0	76.4	50.7	61.4	

(表13)

	入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年平均)
			人間	健康栄養学 部	一般入試	志願者	185	
合格者	128	140	150			147	138	
入学者(A)	63	62	72			55	54	
入学定員(B)	75	75	75			75	70	
A/B*100	84.0	82.7	96.0			73.3	77.1	
指定校推薦	志願者	40	44		42	39	39	
	合格者	40	44		41	38	39	
	入学者(A)	40	44		41	37	39	
	入学定員(B)	推薦全体で75	推薦全体で75		推薦全体で75	推薦全体で75	推薦全体で80	
公募推薦入試	A/B*100	不能	不能		不能	不能	不能	
	志願者	24	26		25	27	26	
	合格者	24	25		24	27	26	
	入学者(A)	24	25		24	26	26	
一芸一能入試 (自己推薦入試)	入学定員(B)	推薦全体で75	推薦全体で75		推薦全体で75	推薦全体で75	推薦全体で80	
	A/B*100	不能	不能		不能	不能	不能	
	志願者	47	48		42	28	32	
	合格者	44	33		31	27	29	
社会人入試	入学者(A)	43	33		30	27	29	
	入学定員(B)	推薦全体で75	推薦全体で75		推薦全体で75	推薦全体で75	推薦全体で80	
	A/B*100	不能	不能		不能	不能	不能	
	志願者	0	4		0	2	1	
留学生入試	合格者	0	3		0	2	1	
	入学者(A)	0	3		0	1	1	
	入学定員(B)	0	0		0	0	0	
	A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
帰国生徒入試	志願者	0	0	0	0	0		
	合格者	0	0	0	0	0		
	入学者(A)	0	0	0	0	0		
	入学定員(B)	0	0	0	0	0		
(健康栄養) 学 科 計	A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能		
	志願者	296	302	305	269	270		
	合格者	236	245	246	241	233		
	入学者(A)	170	167	167	146	149		
	入学定員(B)	150	150	150	150	150		
	A/B*100	113.3	111.3	111.3	97.3	99.3	106.5	

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2005～2009年平均)
人間 科 学 部	理 学 療 法 学 科	一般入試	志願者	/	215	298	289	324	118.8
			合格者	/	70	114	123	110	
			入学者(A)	/	47	49	55	58	
			入学定員(B)	/	40	45	45	45	
			A/B*100	/	117.5	108.9	122.2	128.9	
		公募推薦入試	志願者	/		80	85	66	
			合格者	/		42	43	38	
			入学者(A)	/		42	43	38	
			入学定員(B)	/		32	35	35	
			A/B*100	/		131.3	122.9	108.6	
		一芸一能入試 (自己推薦入試)	志願者	/	176				
			合格者	/	41				
			入学者(A)	/	41				
			入学定員(B)	/	36				
			A/B*100	/	113.9				
		社会人入試	志願者	/	13	6	6	2	
			合格者	/	2	2	1	2	
			入学者(A)	/	2	2	1	2	
			入学定員(B)	/	4	3	0	0	
			A/B*100	/	50.0	66.7	不能	不能	
	留学生入試	志願者	/	0	0	0	0		
		合格者	/	0	0	0	0		
		入学者(A)	/	0	0	0	0		
		入学定員(B)	/	0	0	0	0		
		A/B*100	/	不能	不能	不能	不能		
	帰国生徒入試	志願者	/	0	0	0	0		
		合格者	/	0	0	0	0		
		入学者(A)	/	0	0	0	0		
入学定員(B)		/	0	0	0	0			
A/B*100		/	不能	不能	不能	不能			
学 科 計	志願者	/	404	384	380	392			
	合格者	/	113	158	167	150			
	入学者(A)	/	90	93	99	98			
	入学定員(B)	/	80	80	80	80			
	A/B*100	/	112.5	116.3	123.8	122.5			

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2005～2009年平均)	
人 間 科 学 部	作 業 療 法 学 科	一般入試	志願者			55	95	91		
			合格者			23	54	33		
			入学者(A)			16	31	24		
			入学定員(B)			20	20	20		
			A/B*100			80.0	155.0	120.0		
		公募推薦入試	志願者					27		39
			合格者					26		22
			入学者(A)					26		22
			入学定員(B)					20		20
			A/B*100					130.0		110.0
		一芸一能入試 (自己推薦入試)	志願者				30			
			合格者				29			
			入学者(A)				29			
			入学定員(B)				20			
			A/B*100				145.0			
		社会人入試	志願者				4	1		1
			合格者				3	1		0
			入学者(A)				3	1		0
			入学定員(B)				0	0		0
			A/B*100				不能	不能		不能
	留学生入試	志願者				0	0	0		
		合格者				0	0	0		
		入学者(A)				0	0	0		
		入学定員(B)				0	0	0		
		A/B*100				不能	不能	不能		
	帰国生徒入試	志願者				0	0	0		
		合格者				0	0	0		
		入学者(A)				0	0	0		
入学定員(B)					0	0	0			
A/B*100					不能	不能	不能			
学 科 計	志願者				89	123	131			
	合格者				55	81	55			
	入学者(A)				48	58	46			
	入学定員(B)				40	40	40			
	A/B*100				120.0	145.0	115.0			
									126.7	

(表13)

	入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2005～2009年平均)
人間科学部	一般入試	志願者				239	363	
		合格者				74	130	
		入学者(A)				35	52	
		入学定員(B)				40	45	
		A/B*100				87.5	115.6	
	公募推薦入試	志願者					53	
		合格者					39	
		入学者(A)					39	
		入学定員(B)					35	
		A/B*100					111.4	
	一芸一能入試 (自己推薦入試)	志願者				70		
		合格者				58		
		入学者(A)				57		
		入学定員(B)				40		
		A/B*100				142.5		
	社会人入試	志願者				11	11	
		合格者				5	2	
		入学者(A)				5	1	
		入学定員(B)				0	0	
		A/B*100				不能	不能	
	留学生入試	志願者				0	0	
		合格者				0	0	
		入学者(A)				0	0	
		入学定員(B)				0	0	
A/B*100					不能	不能		
帰国生徒入試	志願者				0	0		
	合格者				0	0		
	入学者(A)				0	0		
	入学定員(B)				0	0		
	A/B*100				不能	不能		
学科計	志願者				320	427		
	合格者				137	171		
	入学者(A)				97	92		
	入学定員(B)				80	80		
	A/B*100				121.3	115.0		
学部合計	志願者		296	706	778	1,092	1,220	112.7
	合格者		236	358	459	626	609	
	入学者(A)		170	257	308	400	385	
	入学定員(B)		150	230	270	350	350	
	A/B*100		113.3	111.7	114.1	114.3	110.0	

(表13)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	
外国語学部合計	志願者	224	195	164	141	154	69.9
	合格者	214	183	162	138	150	
	入学者(A)	142	126	107	71	86	
	入学定員(B)	200	140	140	140	140	
	A/B*100	71.0	90.0	76.4	50.7	61.4	
人間科学部合計	志願者	296	706	778	1,092	1,220	112.7
	合格者	236	358	459	626	609	
	入学者(A)	170	257	308	400	385	
	入学定員(B)	150	230	270	350	350	
	A/B*100	113.3	111.7	114.1	114.3	110.0	
大学合計	志願者	520	901	942	1,233	1,374	97.2
	合格者	450	541	621	764	759	
	入学者(A)	312	383	415	471	471	
	入学定員(B)	350	370	410	490	490	
	A/B*100	89.1	103.5	101.2	96.1	96.1	

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 定 学 員	編 入 定 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数								備 考
				総 数 (A)	う ち 編 入 学 生 数 (C)	総 数 (B)	う ち 編 入 学 生 数 (D)			第 1 年 次		第 2 年 次		第 3 年 次		第 4 年 次		
										学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	
外国語学部	英米語コミュニケーション学科	50	—	200	—	140	—	0.70	—	31	0	22	0	40	0	47	7	
	中国語コミュニケーション学科	40	—	160	—	98	—	0.61	—	15	0	13	0	32	0	38	4	
	日本語コミュニケーション学科	50	—	200	—	189	—	0.95	—	40	0	39	0	46	0	64	15	
計		140	—	560	—	427	—	0.76	—	86	0	74	0	118	0	149	26	
人間科学部	健康栄養学科	150	—	600	—	618	—	1.03	—	156	5	143	13	152	0	167	29	
	理学療法学科	80	—	320	—	378	—	1.18	—	98	0	102	3	96	6	82	0	18年度から開設
	作業療法学科	40	—	120	—	147	—	1.23	—	47	1	62	6	38	0	—	—	19年度から開設
	看護学科	80	—	160	—	188	—	1.18	—	98	4	90	0	—	—	—	—	20年度から開設
計		350	—	1,200	—	1,331	—	1.11	—	399	10	397	22	286	6	249	29	
合 計		490	—	1,760	—	1,758	—	1.00	—	485	10	471	22	404	6	398	55	

[注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。

2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。

3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。

4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。

6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数											備 考	
			一般入試	A0入試	附属校 推 薦	指定校 推 薦	公募推薦 入 試	一芸一能 入 試	社会人 入 試	留学生 入 試	帰国生徒 入 試	その他	計		
外国語学部	英米語コ ミュニケー ション学科	募集定員	20	5	/	推薦全体で25					0	0	0	/	50
		入学者数	19	2	/	3	5	1	0	1	0	/	31		
		計に対する割合	61.3%	6.5%	%	9.7%	16.1%	3.2%	%	3.2%	%	%	100.0%		
	中国語コ ミュニケー ション学科	募集定員	10	5	/	推薦全体で25					0	0	0	/	40
		入学者数	5	2	/	4	1	3	0	0	0	/	15		
		計に対する割合	33.3%	13.3%	%	26.7%	6.7%	20%	%	%	%	%	100.0%		
	日本語コ ミュニケー ション学科	募集定員	20	5	/	推薦全体で25					0	0	0	/	50
		入学者数	18	3	/	9	1	0	0	9	0	/	40		
		計に対する割合	45.0%	7.5%	%	22.5%	2.5%	%	%	22.5%	%	%	100.0%		
合 計	募集定員	50	15	/	推薦全体で75					0	0	0	/	140	
	入学者数	42	7	/	16	7	4	0	10	0	/	86			
	計に対する割合	48.9%	8.1%	%	18.6%	8.1%	4.7%	%	11.6%	%	%	100.0%			
人間科学部	健康栄養学科	募集定員	70	/	/	推薦全体で80					0	0	0	/	150
		入学者数	54	/	/	39	26	29	1	0	0	/	149		
		計に対する割合	36.2%	%	%	26.2%	17.4%	19.5%	0.7%	%	%	%	100.0%		
	理学療法学科	募集定員	45	/	/	/	35	/	0	0	0	/	80		
		入学者数	58	/	/	/	38	/	2	0	0	/	98		
		計に対する割合	59.2%	%	%	%	38.8%	%	2.0%	%	%	%	100.0%		
	作業療法学科	募集定員	20	/	/	/	20	/	0	0	0	/	40		
		入学者数	24	/	/	/	22	/	0	0	0	/	46		
		計に対する割合	52.2%	%	%	%	47.8%	%	%	%	%	%	100.0%		
	看護学科	募集定員	45	/	/	/	35	/	0	0	0	/	80		
		入学者数	52	/	/	/	39	/	1	0	0	/	92		
		計に対する割合	56.5%	%	%	%	42.4%	%	1.1%	%	%	%	100.0%		
合 計	募集定員	180	/	/	推薦全体で170					0	0	0	/	350	
	入学者数	188	/	/	39	125	29	4	0	0	/	385			
	計に対する割合	48.8%	%	%	10.1%	32.5%	7.5%	1.1%	%	%	%	100.0%			

[注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。

- 2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。
- 3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。
- 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2006年度					2007年度					2008年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
外国語学部	英米語コミュニケーション学科	6	4	3	6	19	2	2	2	4	10	2	3	0	2	7
	中国語コミュニケーション学科	1	1	0	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	5	6
	日本語コミュニケーション学科	4	4	4	8	20	3	1	1	2	7	1	2	0	3	6
計		11	9	7	16	43	5	3	3	6	17	3	6	0	10	19
人間科学部	健康栄養学科	7	6	0	0	13	10	12	0	2	24	14	5	0	2	21
	理学療法学科	0	—	—	—	0	0	1	—	—	1	0	0	0	0	0
	作業療法学科	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—	1	1	0	0	2
	看護学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	0	0	1
計		7	6	0	0	13	10	13	0	2	25	16	6	0	2	24
合計		18	15	7	16	56	15	16	3	8	42	19	12	0	12	43

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程					博士課程						
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
グローバルコミュニケーション研究科	言語文化コミュニケーション専攻	5		10		1	1	17	0	19	1.90						
計		5		10		1	1	17	0	19	1.90						

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。
 また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。
- 2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。
- 3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。
- 4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/AおよびD/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数 (表18-2)

該当なし

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

研究科名	専攻名	入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年平均)
グローバルコミュニケーション研究科	言語文化コミュニケーション専攻	一般入試	志願者	0	1	0	2	0	136.0
			合格者	0	1	0	2	0	
			入学者(A)	0	1	0	2	0	
			入学定員(B)	全体で5	全体で5	全体で5	全体で5	全体で5	
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
		社会人入試	志願者	0	1	1	0	0	
			合格者	0	1	1	0	0	
			入学者(A)	0	1	1	0	0	
			入学定員(B)	全体で5	全体で5	全体で5	全体で5	全体で5	
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
		留学生入試	志願者	7	8	10	1	10	
			合格者	7	8	6	1	10	
			入学者(A)	6	7	6	1	9	
			入学定員(B)	全体で5	全体で5	全体で5	全体で5	全体で5	
			A/B*100	不能	不能	不能	不能	不能	
		課程計	志願者	7	10	11	3	10	
			合格者	7	10	7	3	10	
			入学者(A)	6	9	7	3	9	
			入学定員(B)	5	5	5	5	5	
			A/B*100	120.0	180.0	140.0	60.0	180.0	
大学院合計	志願者	7	10	11	3	10			
	合格者	7	10	7	3	10			
	入学者(A)	6	9	7	3	9			
	入学定員(B)	5	5	5	5	5			
	A/B*100	120.0	180.0	140.0	60.0	180.0			

- [注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を()内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年平均）」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移 (表18-4)

該当なし

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数										助手	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
外国語学部	英米語コミュ学科	5	2	4	0	1	0	0	0	10	2	—	
	中国語コミュ学科	4	1	2	0	0	0	0	0	6	1	—	
	日本語コミュ学科	6	2	2	0	1	0	0	0	9	2	—	
外国語学部 計		15	5	8	0	2	0	0	0	25	5	—	
人間科学部	健康栄養学科	12	5	3	0	9	3	0	0	24	8	5	
	理学療法学科	7	0	4	0	3	0	0	0	14	0	2	
	作業療法学科	4	0	2	0	2	0	1	0	9	0	1	
	看護学科	8	0	3	0	3	0	4	0	18	0	2	
人間科学部 計		31	5	12	0	17	3	5	0	65	8	10	
グローバルコミュニ ケーション研究科	言語文化コミュニ ケーション専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
グローバルコミュニ ケーション研究科 計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計		46	10	20	0	19	3	5	0	90	13	10	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。
- 3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください(次ページ記入例参照)。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

1-2 学部の教員組織

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任 教員数	専任教員1人 当たりの 在籍学生数 (表14(B)/計 (A))	兼任 教員数	備考
		教授		准教授		講師		助教		計(A)						
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)					
外国語学部	英米語コミュ学科	5	2	4	0	1	0	0	0	10	2	0	6	17.8		
	中国語コミュ学科	4	1	2	0	0	0	0	0	6	1	0	5			
	日本語コミュ学科	6	2	1	0	1	0	0	0	8	2	0	6			
外国語学部 計		15	5	7	0	2	0	0	0	24	5	0	17		32	
人間科学部	健康栄養学科	12	5	3	0	9	3	0	0	24	8	5	12	20.5		健康栄養学科： 実習補助員3人
	理学療法学科	7	0	4	0	3	0	0	0	14	0	2	14			
	作業療法学科	4	0	2	0	2	0	1	0	9	0	1	8			*看護学科：(12×3/4=9) H20年度看護学科設置のため設置基準 上必要専任教員数は9 (22年度 教授2・准教授1・助手2 を採 用予定)
	看護学科	8	0	3	0	3	0	4	0	18	0	2	*		9	
人間科学部 計		31	5	12	0	17	3	5	0	65	8	10	43		52	
(その他の学部教育担当組織)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数		/										21	/			
合計		46	10	19	0	19	3	5	0	89	13	10	81		84	

- [注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。
たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。

- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼担」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。

同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください（重複可）。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員（例えば、いわゆる副手、実験補助員等）、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻		専任教員数										助手	専任教員のうち		設置基準上必要専任教員数		兼任教員数	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			研究指導教員数	研究指導補助教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数		
		特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)									
グローバルコミュニケーション研究科	言語文化コミュニケーション専攻*	6	1	3	0	1	0	0	0	10	1	0	10(6)	0	3(2)	3	0	
グローバルコミュニケーション研究科 計		6	1	3	0	1	0	0	0	10	1	0	10(6)	0	3(2)	3	0	
合計		6	1	3	0	1	0	0	0	10	1	0	10(6)	0	3(2)	3	0	

() 内は教授の数を内数で示す。

* 2007.4.1 専攻の名称変更 「中国語コミュニケーション専攻」→「言語文化コミュニケーション専攻」

[注] 1 専任教員については、(表19)のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。

3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。

5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。

6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。

7 「研究指導教員数」欄の()には、教授の数を内数で記入してください。

8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできますが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。

9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。

同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。

10 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」(平成11年文部省告示第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。

11 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。

12 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1 - 4 専門職大学院の教員組織 (表19-4)

該当なし

1-5 事務組織

(表19-5)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	総務部			5				5
	総務課	2	0	3	0	2	—	7
	会計課	1	0	3	0	0	—	4
	管財課	0	0	5	8	0	—	13
	計	3	0	16	8	2	—	29
大学業務系	学務部							
	教務課	4	0	3	0	0	—	7
	学生課	2	0	2	2	0	—	6
	図書課	1	0	3	2	0	—	6
	小計	7	0	8	4	0	—	19
	入試広報部							
	入試広報課	2	0	1	3	1	—	7
	小計	2	0	1	3	1	—	7
	就職部							
	就職課	0	0	3	0	0	—	3
	小計	0	0	3	0	0	—	3
計	9	0	12	7	1	—	29	
合計	12	0	28	15	3	—	58	

[注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。

2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。

なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。

3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。

4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。

5 「助手」は、「教員組織」(表19～表19-4)に記入してください。

2 専任教員個別表

外国語学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	性別	年齢	就職年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験 実習 実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	すていーぶん とすかー Stephen L. Toskar	男	60	1999. 4. 1	1999. 4. 1	英米語コミュ	前期	心をつかむ英会話	2.0						2.0	14.0	無	米フロリダ大学英文学修士課程修了 文学修士
								日米比較文化論	2.0					2.0				
								C・イングリッシュ I A(1)			2.0			2.0				
								C・イングリッシュ I A(2)			2.0			2.0				
								CAI英語 I A			2.0			2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
							後期	観光英語 I		2.0				2.0				
								クリエイティブ・ライティング		2.0				2.0				
								C・イングリッシュ I B(1)			2.0			2.0				
								C・イングリッシュ I B(2)			2.0			2.0				
	C・イングリッシュ II B(1)			2.0			2.0											
	C・イングリッシュ II B(2)			2.0			2.0											
	コミュニケーション英作文B			2.0			2.0											
	卒業研究			2.0			2.0											
	計			4.0	6.0	8.0	10.0			12.0	16.0							
教授	かまだ 謙田 きよこ 清子	女	61	2001. 4. 1	2003. 4. 1	英米語コミュ	前期	自然と環境	2.0					2.0	11.0	無	北海道大学工学研究科博士課程修了 工学博士	
								生活科学 I	2.0					2.0				
								ヨーロッパ・アメリカ地域事情	2.0					2.0				
								都市環境論	2.0					2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
							後期	現代社会と福祉		4.0				4.0				
								人間と住居		4.0				4.0				
								生活科学 II		2.0				2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								計			8.0	10.0	2.0	2.0				

教授	たかはし じゅんいち 高橋 順一	男	61	2003. 4. 1	2003. 4. 1	英米語コ ミュ	前期	英語教授法II(英語科教育法II)	2.0						2.0	14.0	無	北海道教育大学函館分校英語 科卒業
								国際理解教育	2.0					2.0				
								リーディング I A(2)			2.0				2.0			
								検定英語IIA	2.0						2.0			
								英語音声/音韻学	2.0						2.0			
								英語科教育法 I	2.0						2.0			
								卒業研究			2.0				2.0			
								専門英語III			2.0				2.0			
							後期	英語社会言語学		2.0								
								英語IIA				2.0			2.0			
								卒業研究				2.0			2.0			
								英語コミュニケーションIV				2.0			2.0			
								専門英語 I				4.0			4.0			
								計	10.0	2.0	6.0	10.0			16.0	12.0		
教授 (特嘱)	ながはら かずお 永原 和夫	男	75	1999. 4. 1	1999. 4. 1	英米語コ ミュ	前期	英語翻訳法A	2.0						2.0	5.0	無	名古屋大学大学院文学研究科 修士課程修了 英文学修士
								英米文学の歴史	2.0					2.0				
								卒業研究			2.0				2.0			
							後期	現代イギリス論		2.0								
								卒業研究				2.0			2.0			
								計	4.0	2.0	2.0	2.0			6.0	4.0		
教授 (特嘱)	やぐち よりふみ 矢口 以文	男	76	1999. 4. 1	1999. 4. 1	英米語コ ミュ	前期	卒業研究	2.0		2.0				2.0	4.0	無	米インディアナ州ゴーシェン 大学大学院神学科修了 神学修士
								比較宗教学					2.0					
							後期	英米の生活と文化		2.0					2.0			
								卒業研究				2.0			2.0			
								計	2.0	2.0	2.0	2.0			4.0	4.0		

准教授	デーバック さみだ Deepa K. Samida	男	59	1999. 4. 1	2004. 5. 1	英米語コ ミュ	前期	観光英語 II	2.0						2.0	14.3	無	米ハーモント州国際訓練校英語教 育修士課程修了
								メディア・イングリッシュ	2.0					2.0				
								英語討論法	2.0					2.0				
								C・イングリッシュ I A(1)		2.0				2.0				
								C・イングリッシュ I A(2)		2.0				2.0				
								C・イングリッシュ II A(1)		2.0				2.0				
								C・イングリッシュ II A(2)		2.0				2.0				
								卒業研究		2.0				2.0				
							後期	英語IVD		2.0				2.0				
								マルチリンガル世界探査 I		0.7				0.7				
								C・イングリッシュ II B(1)			2.0			2.0				
								C・イングリッシュ II B(2)			2.0			2.0				
	検定英語 II B		2.0				2.0											
	卒業研究			2.0			2.0											
	専門英語 II			2.0			2.0											
計								6.0	2.7	12.0	8.0			16.0	12.7			
准教授	デニス クィン Denis Quinn	男	43	2006. 4. 1	2006. 4. 1	英米語コ ミュ	前期	ドラマチック・コミュニケーション	2.0						2.0	13.0	無	蒙ニューバースティ・オブ・ テクノロジー 卒業
								英語演説法	2.0					2.0				
								C・イングリッシュ II A(1)		2.0				2.0				
								C・イングリッシュ II A(2)		2.0				2.0				
								卒業研究		2.0				2.0				
								専門英語 II		4.0				4.0				
							後期	英米の演劇		2.0				2.0				
								C・イングリッシュ I B(1)			2.0			2.0				
								C・イングリッシュ I B(2)			2.0			2.0				
								CAI英語 I B			2.0			2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								英語コミュニケーション II			2.0			2.0				
計								4.0	2.0	10.0	10.0			14.0	12.0			

准教授	くの ひろゆき 久野 寛之	男	50	1999. 4. 1	2004. 5. 1	英米語コ ミュ	前期	英語 I D			2.0				2.0	14.0	無	米シ ^ン ジョ ^ン ア州シ ^ン ジョ ^ン ア・サウスウエス ン大学大学院 英語外国語学部 修士課程修了 教育学修士 (英語)
								コミュニカティブ 英作文A	2.0				2.0					
								検定英語 I A	2.0						2.0			
								卒業研究			2.0				2.0			
								英語コミュニケーション I			4.0				4.0			
								専門英語 I			2.0				2.0			
							後期	契約文書の専門英語		2.0					2.0			
								リーディング II B(1)				2.0			2.0			
								CAI英語 II B				2.0			2.0			
								スピーチ・クリニック	2.0						2.0			
								卒業研究				2.0			2.0			
								英語コミュニケーション II				4.0			4.0			
								計	4.0	4.0	10.0	10.0			14.0	14.0		
准教授	たかはし やすお 高橋 保夫	男	46	2000. 4. 1	2006. 4. 1	英米語コ ミュ	前期	リーディング I A(1)			2.0				2.0	14.0	無	東京学芸大学教育学研究科 修士課程修了 教育学修士
								リーディング II A(1)			2.0			2.0				
								英語 I C			2.0			2.0				
								英語 III A			2.0			2.0				
								英文法A	2.0					2.0				
								応用言語学入門	2.0					2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								英語コミュニケーション I			2.0			2.0				
							後期	英語の構造		2.0				2.0				
								リーディング I B(2)				2.0		2.0				
								英文法B	2.0					2.0				
								卒業研究				2.0		2.0				
								英語コミュニケーション III				2.0		2.0				
								英語コミュニケーション II				2.0		2.0				
								計	4.0	4.0	12.0	8.0			16.0	12.0		

講師	わたなべ 渡辺	まこと 淳	男	34	2008. 4. 1	2008. 4. 1	英語語コ ミュ	前期	英語通訳法A	2.0					2.0	15.0	無	英国ウォーリック大学大学院 政治国際学研究科国際関係専 攻修士課程修了 国際政治学修士
									英語 I A				2.0					
									国際関係論	2.0					2.0			
									コミュニカティブ英作文A	2.0					2.0			
									卒業研究						2.0			
									専門英語 II						4.0			
								後期	英語翻訳法B	2.0					2.0			
									英語通訳法B	2.0					2.0			
									国連英検 II	2.0					2.0			
									英語IVC				2.0		2.0			
									国際ホランティア論	2.0					2.0			
									リーディング I B(1)				2.0		2.0			
									検定英語 I B	2.0					2.0			
									卒業研究				2.0		2.0			
									計	6.0	10.0	8.0	6.0		14.0	16.0		
教授	くろさか 黒坂	みつてる 満輝	男	69	1999. 4. 1	1999. 4. 1	中国語コ ミュ	前期	コミュニケーション中国語Ⅱ②	2.0					2.0	16.0	有	北海道大学文学研究科博士課 程単位取得退学 文学修士
									コミュニケーション中国語Ⅳ③	2.0				2.0				
									コミュニケーション中国語Ⅵ①	2.0				2.0				
									中国語翻訳法 I	2.0				2.0				
									日中文化コミュニケーション論 II	2.0				2.0				
									中国へのアプローチ I	2.0				2.0				
									卒業研究			2.0		2.0				
									△ 中国文化研究	2.0				2.0				
								後期	コミュニケーション中国語Ⅱ③		2.0				2.0			
									コミュニケーション中国語Ⅵ②		2.0				2.0			
									中国文化と言語表現 II		2.0				2.0			
									日中文化コミュニケーション論 I		2.0				2.0			
									中国へのアプローチ II		2.0				2.0			
									中国語通訳法 I		2.0				2.0			
									卒業研究				2.0		2.0			
									△ 比較文化研究		2.0				2.0			
									計	14.0	14.0	2.0	2.0		16.0	16.0		

教授	しろや たけお 城谷 武男	男	69	1999.4.1	1999.4.1	中国語コ ミュ	前期	中国語 I B			2.0				2.0	16.0	有	北海道大学文学研究科博士課程 単位取得退学 文学修士
								中国語 I C			2.0			2.0				
								中国語 I D			2.0			2.0				
								中国語教授法 I (中国科教育法 I)	2.0					2.0				
								コミュニケーション中国語 VII ①	2.0					2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								△ 中国地域文化研究	2.0					2.0				
								中国語 I			2.0			2.0				
							後期	中国語 II B				2.0			2.0			
								中国語 IV D				2.0			2.0			
								コミュニケーション中国語 VII ②		2.0				2.0				
								中国語教授法 II (中国科教育法 II)		2.0				2.0				
								中国物語文学		2.0				2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								△ 中国文学研究		2.0				2.0				
								中国語 II			2.0			2.0				
								計	6.0	8.0	10.0	8.0		16.0	16.0			
教授	すう びいん 蘇 氷	男	53	2000.4.1	2000.4.1	中国語コ ミュ	前期	中国語総合演習 I ③			2.0			2.0	17.0	有	中国社会科学院大学院博士課程 修了 文学博士	
								中国語総合演習 III ②			2.0		2.0					
								中国語情報処理基礎	2.0				2.0					
								中国語総合演習 I ④			2.0		2.0					
								中国語総合演習 II ②			2.0		2.0					
								コミュニケーション中国語 V ①	2.0				2.0					
								卒業研究			2.0		2.0					
								△ 文学社会学研究	2.0				2.0					
							後期	中国語総合演習 I ⑦				2.0		2.0				
								中国語総合演習 III ④				2.0		2.0				
								中国語情報処理応用		2.0				2.0				
								中国語総合演習 I ⑧				2.0		2.0				
								中国語総合演習 II ④				2.0		2.0				
								コミュニケーション中国語 IV ②		2.0				2.0				
								コミュニケーション中国語 V ②		2.0				2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								△ 中国語修辞学演習		2.0				2.0				
								計	6.0	8.0	10.0	10.0		16.0	18.0			

教授 (特嘱)	ふじもと こうぞう 藤本 幸三	男	73	2000.4.1	2000.4.1	中国語コ ミュ	前期	中国語ⅠA			2.0				2.0	6.0	無	東京都立大学人文科学研究科 博士課程単位取得退学 文学修士
								中国語ⅢB			2.0			2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
							後期	中国語ⅡA				2.0		2.0				
							中国の歴史						2.0					
							卒業研究							2.0				
							計			2.0	6.0	4.0		6.0	6.0			
准教授	のま あきら 野間 晃	男	48	1999.4.1	2004.5.1	中国語コ ミュ	前期	ビズネス中国語Ⅰ	2.0						2.0	16.0	有	東北大学文学研究科博士課程 単位取得退学 文学博士
								中国語総合演習Ⅰ①			2.0			2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅰ	2.0					2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅲ③	2.0					2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅶ③	2.0					2.0				
								中国文化と言語表現Ⅰ	2.0					2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								△中国語文法演習	2.0					2.0				
							後期	ビズネス中国語Ⅱ		2.0				2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅳ④		2.0				2.0				
								中国語総合演習Ⅰ⑤				2.0		2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅱ①		2.0				2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅲ④		2.0				2.0				
								コミュニケーション中国語Ⅶ④		2.0				2.0				
	卒業研究			2.0			2.0											
	△中国語学演習		2.0				2.0											
	計	12.0	12.0	4.0	4.0		16.0	16.0										

准教授	やまうち ちえみ 山内 智恵美	女	50	1999. 4. 1	2003. 4. 1	中国語コ ミュ	前期	中国語総合演習Ⅰ②			2.0				2.0	15.0	有	中国西北大学大学院博士課程 修了 文学博士
								中国語総合演習Ⅱ①			2.0			2.0				
								中国語総合演習Ⅲ①			2.0			2.0				
								が'ト・ホテル中国語	2.0				2.0					
								コミュニケーション中国語Ⅳ①	2.0				2.0					
								卒業研究		2.0			2.0					
							△	学術研究方法論	2.0				2.0					
							△	特別課題研究Ⅱ	2.0				2.0					
							後期	中国語総合演習Ⅰ⑥			2.0		2.0					
								中国語総合演習Ⅱ③			2.0		2.0					
	中国語総合演習Ⅲ③			2.0		2.0												
	コミュニケーション中国語Ⅳ②		2.0			2.0												
	通商中国語		2.0			2.0												
	卒業研究			2.0		2.0												
	△ 通訳翻訳文化論		2.0			2.0												
	計	8.0	6.0	8.0	8.0			16.0	14.0									
教授	うばさわ たかし 姥ヶ澤 隆司	男	58	1999. 4. 1	1999. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	日本語文章表現法Ⅰ	4.0					4.0	15.0	有	北海道大学文学部卒業	
								アクティブプレゼンテーション	2.0				2.0					
								漢字の世界	2.0				2.0					
								古典文献で読む日本文化	2.0				2.0					
								日本古典文学史	2.0				2.0					
								卒業研究			2.0		2.0					
							後期	近世以前の日本文化		2.0			2.0					
								日本のかな文字		2.0			2.0					
								日本語文章表現法Ⅱ		4.0			4.0					
								オフィスライティング		2.0			2.0					
	日本の信仰と生活		2.0			2.0												
	卒業研究			2.0		2.0												
	△ 日本文学研究		2.0			2.0												
	計	12.0	14.0	2.0	2.0			14.0	16.0									

教授	おかもと さちこ 岡本 佐智子	女	53	1999. 4. 1	2005. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	社会言語学	2.0						2.0		16.0	有	青山学院大学国際政治経済学 研究科修士課程修了 国際コミュニケーション修 士
								日本語コミュニケーション技法	2.0						2.0				
								非言語による自己表現	2.0						2.0				
								日本語教育概説	2.0						2.0				
								日本語教授法Ⅰ	2.0						2.0				
								卒業研究	2.0		2.0				2.0				
								△ 異文化コミュニケーション研究	2.0						2.0				
							後期	異文化間コミュニケーション論		6.0					6.0				
								日本事情Ⅰ		2.0					2.0				
								日本語教授法Ⅱ		2.0					2.0				
								日本語教授法演習Ⅰ		2.0					2.0				
								日本語と日本文化		2.0					2.0				
								卒業研究		2.0		2.0			2.0				
								△ 日本語教授法演習		2.0					2.0				
								計	12.0	16.0	2.0	2.0			14.0	18.0			
教授 (特嘱)	かみや ただたか 神谷 忠孝	男	71	2001. 4. 1	2001. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	日本の文学作品を読む	2.0						2.0		12.0	有	北海道大学文学研究科博士課 程単位取得退学 文学修士
								日本近現代文学史	2.0						2.0				
								社会思想から見た日本人論	2.0					2.0					
								卒業研究			2.0			2.0					
								△ 日本社会・歴史研究	2.0					2.0					
								△ 特別課題研究Ⅰ・Ⅱ						2.0					
							後期	クリエイティブライティング		2.0					2.0				
								近現代文献で読む日本文化		2.0					2.0				
								文学作品から見た日本人論		2.0					2.0				
								卒業研究				2.0			2.0				
								△ 日本文化研究		2.0					2.0				
								△ 特別課題研究Ⅱ				2.0			2.0				
								計	8.0	8.0	4.0	4.0			12.0	12.0			

教授	すずき あけみ 鈴木 明美	女	66	1999. 4. 1	2005. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	ロシア語ⅠA			2.0				2.0	13.0	無	元ソ連邦国立モスクワ民族友好 大学 理学部 物理数学科卒業 数学修士
								ロシア語ⅠB			2.0			2.0				
								ロシア語ⅠD			2.0			2.0				
								ロシア語ⅢA			2.0			2.0				
								卒業研究			2.0			2.0				
								ロシア語Ⅰ			2.0			2.0				
							後期	ロシア語ⅡA		2.0				2.0				
								ロシア語ⅡB		2.0				2.0				
								ロシア語ⅣC		2.0				2.0				
								ロシア語ⅣD		2.0				2.0				
								観光ロシア語Ⅱ		2.0				2.0				
								卒業研究		2.0				2.0				
								ロシア語Ⅱ		2.0				2.0				
								計			12.0	14.0			12.0	14.0		
教授	そが としおき 曾我 聰起	男	51	1999. 4. 1	2006. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	視聴覚教育論(視聴覚教育メソッド論)	2.0					2.0	12.0	無	北海道大学工学研究科博士課 程単位取得退学	
								情報処理Ⅰ	6.0				6.0					
								卒業研究			2.0		2.0					
							後期	情報処理Ⅱ		2.0			2.0					
								サイバースペース論		2.0			2.0					
								情報処理Ⅲ		2.0			2.0					
								卒業研究				2.0	2.0					
								コンピュータリテラシー		6.0			6.0					
								計	8.0	12.0	2.0	2.0		10.0	14.0			
教授 (特嘱)	えびこ ただゆき 海老子 格行	男	66	2005. 4. 1	2005. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	生徒指導の研究Ⅰ	2.0					2.0	4.0	無	東京経済大学経済学部商学科 卒業	
								事前事後指導	2.0				2.0					
								教職原論	2.0				2.0					
							後期	総合演習		2.0			2.0					
								計	6.0	2.0				6.0	2.0			

准教授	よしだ なつや 吉田 夏也	男	46	1999. 4. 1	2006. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	言語行動学	2.0						2.0										
								日本語ⅢA	2.0						2.0										
								日本語学Ⅰ	2.0						2.0										
								現代日本語論	2.0						2.0										
								現代日本語変遷史	2.0						2.0										
								卒業研究	2.0						2.0										
								△ 言語音声研究	2.0						2.0		2.0								
							後期	日英対照言語学		2.0											2.0	15.0	有	京都大学文学研究科博士課程 単位取得退学 文学博士	
								社会調査・統計演習		2.0											2.0				
								日本語学Ⅱ		2.0											2.0				
	日本語音声学		2.0											2.0											
	ことばと心		2.0											2.0											
	近現代の日本文化		2.0											2.0											
	卒業研究		2.0							2.0				2.0											
	△ 日本語学演習		2.0							2.0				2.0											
	計		12.0	14.0	2.0	2.0								14.0	16.0										
准教授	にった たかし 新田 隆	男	56	2006. 6. 1	2006. 6. 1	日本語コ ミュ	該当なし											無	北海道教育大学札幌分校教育 専攻科修了						
							計																		

講師	こにし まさと 小西 正人	男	39	2003. 4. 1	2003. 4. 1	日本語コ ミュ	前期	世界の言語と日本語	2.0						2.0	16.0	有	京都大学文学研究科博士課程 単位取得退学 文学博士
								日本事情Ⅱ	2.0					2.0				
								言語による自己表現	2.0					2.0				
								スピーチコミュニケーション	2.0					2.0				
								現代日本語のフィールドワーク	2.0					2.0				
								日本語実践運用法	2.0					2.0				
								卒業研究		2.0				2.0				
							△	日本語文法・表現法演習	2.0					2.0				
							後期	日本語解読法		2.0				2.0				
								ベシックプレゼンテーション		2.0				2.0				
								日本語ⅢB		2.0				2.0				
								日本語の構造		2.0				2.0				
								現代日本語の文法		2.0				2.0				
								古典日本語の文法		2.0		2.0		2.0				
	卒業研究						2.0											
△	比較語学研究		2.0				2.0											
	計		14.0	14.0	2.0	2.0		16.0	16.0									

- [注]1. 「IV 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成すること。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載すること。
- 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には△印を付すこと。
 - 「授業科目」欄については、 Semester制の場合を例示しているが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入すること。
 - 毎週授業時間数は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入すること(例えば1コマ90分の場合は、2時間)。
 - 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出すること。
 - 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入すること。
 - 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入すること。

2 専任教員個別表

人間科学部

(表20)

職名	ふりがな 氏名	性別	年齢	就職 年月日	現職就任 年月日	所属学科	授 業 科 目										年間平均 毎週授業時 間数	大学院 における研究 指導担当資格 の有無	最終学歴及び 学位称号	
							科目名	毎週授業時間数								前期				後期
								講義		演習		実験 実習 実技		計						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教授	さとう せつこ 佐藤 節子	女	61	2003.4.1	2007.4.1	健康栄養	前期	給食経営管理論Ⅲ	4.0						4.0		13.4	無	ニューヨーク市立ハンターカ レッジ大学院修了 科学修士（栄養学）	
								臨地実習ⅡA				2.0	2.0							
								栄養アセスメント演習			8.0		8.0							
								卒業研究		2.0			2.0							
	後期	給食経営管理実習Ⅲ						4.8		4.8										
		専門英語Ⅰ					4.0			4.0										
		卒業研究					2.0			2.0										
		計					4.0	0.0	10.0	6.0	2.0	4.8	16.0	10.8						
教授	たくみ やすし 侘美 靖	男	53	2003.4.1	2008.4.1	健康栄養	前期	運動生理学	4.0						4.0		10.0	無	北海道大学教育学研究科博士 課程単位取得退学 教育学博士	
								健康体力の科学	4.0					4.0						
							後期	健康体力科学実習					12.0		12.0					
							計		8.0				12.0	8.0	12.0					
教授	とよた じゅうじ 豊田 修次	男	67	2004.4.1	2004.4.1	健康栄養	前期	食品加工学	8.0					8.0		11.0	無	東京理科大学理学部卒業 農学博士		
								生物工程学	2.0					2.0						
								卒業研究		2.0				2.0						
							後期	卒業研究			2.0			2.0						
		食品加工学実験					8.0		8.0											
		計					10.0		2.0	2.0		8.0	12.0	10.0						
教授	なかがわら しゅんじ 中河原 俊治	男	51	2003.4.1	2003.4.1	健康栄養	前期	食べ物の成り立ち	4.0					4.0		8.2	無	北海道大学農学研究科修士課 程修了 農学博士		
								食品機能論	2.0					2.0						
								卒業研究		2.0				2.0						
							後期	食品科学実験					6.4		6.4					
		卒業研究			2.0			2.0												
		計					6.0		2.0	2.0		6.4	8.0	8.4						

教授	なかいや まさあき 中矢 雅明	男	58	2003.4.1	2003.4.1	健康栄養	前期	人間科学総合講座	2.0					2.0	8.8	無	北里大学畜産学研究所博士課程修了 農学博士	
								食べ物の成り立ち	4.0				4.0					
							後期	現代社会総合講座		2.0				2.0				
								現代社会とキャリアプラン		2.0				2.0				
								食品科学実験			1.6			1.6				
								食品加工学実験				2.0		2.0				
								管理栄養士演習Ⅰ			2.0			2.0				
								管理栄養士演習Ⅱ			2.0			2.0				
								計	6.0	4.0		5.6	2.0	6.0	11.6			
教授	まじま みつお 真嶋 光雄	男	64	2003.4.1	2003.4.1	健康栄養	前期	栄養学実験					12.0		12.0	16.5	無	弘前大学文理学部卒業 医学博士
								栄養学	1.0				1.0					
								卒業研究			2.0		2.0					
							後期	基礎栄養学		8.0				8.0				
								栄養と代謝		8.0				8.0				
								卒業研究			2.0		2.0					
								計	1.0	16.0	2.0	2.0	12.0	15.0	18.0			
教授	みやした ようこ 宮下 洋子	女	62	2009.4.1	2009.4.1	健康栄養	前期	生命科学	4.0					4.0	9.4	無	北海道大学大学院薬学研究科 修士課程修了 薬学博士（北海道大学）	
								生物学	2.0				2.0					
							後期	生理学		8.0				8.0				
								解剖生理学実験				4.8	4.8					
								計	6.0	8.0			4.8	6.0	12.8			
教授 (特嘱)	あらい みつこ 荒井 三津子	女	55	2007.4.1	2007.4.1	健康栄養	前期	生命科学	2.0					2.0	5.0	無	武蔵川女子大学大学院家政学 研究科（被服）博士課程単位取 得退学 家政学博士	
								食生活論	4.0				4.0					
							後期	食生活論		2.0			2.0					
								栄養と食生活		2.0			2.0					
								計	6.0	4.0			6.0	4.0				
教授 (特嘱)	こんどう ふみえ 近藤 文衛	男	73	2003.4.1	2003.4.1	健康栄養	前期	生命倫理	1.0					1.0	3.5	無	札幌医科大学医学部卒業 医学博士	
								臨床医学概論		4.0			4.0					
								老年医学		1.0			1.0					
								在宅医療概論		1.0			1.0					
								計	1.0	6.0			1.0	6.0				

教授 (特嘱)	なかじま りょう 中島 亮	女	72	2007.4.1	2007.4.1	健康栄養	前期	基礎化学	10.0					10.0		9.0	無	北海道大学大学院理学研究科 化学専攻修士課程修了 理学修士	
							後期	基礎生化学		8.0					8.0				
									計	10.0	8.0		10.0	8.0					
教授 (特嘱)	ささや みえこ 笹谷 美恵子	女	75	2004.4.1	2007.4.1	健康栄養	前期	栄養教育論Ⅱ	8.0					8.0		13.0	無	相模女子大学学芸学部卒業	
							後期	卒業研究 栄養教育実習(事前事後指導含む) 卒業研究 栄養教育論実習			2.0		2.0		2.0				12.0
									計	8.0		2.0	2.0	2.0	12.0	14.0			
教授 (特嘱)	はまだ やすし 濱田 康	男	52	2007.4.1	2007.4.1	健康栄養	前期	心理学概論	2.0					2.0		7.8	無	北海道大学大学院文学研究科 修士課程修了 文学修士	
							後期	カンゼン入門 臨床心理学		4.0		8.0			4.0				1.5
									計	2.0	5.5	8.0		10.0	5.5				
准教授	おぼら まなぶ 小原 効	男	40	2003.4.1	2005.10.1	健康栄養	前期	生化学実験	1.0				12.0		12.0		13.7	無	北海道大学歯学研究科博士課程修了 歯学博士
							後期	生化学 免疫学 生化学 病態・治療学Ⅲ		8.0	4.0		2.0	0.4		2.0			
									計	1.0	12.0		2.4	12.0		13.0	14.4		
准教授	たなか りつこ 田中 律子	女	53	2003.4.1	2007.4.1	健康栄養	前期	給食経営管理論Ⅰ	4.0					4.0		13.6	無	北海道栄養短期大学食物栄養 学科卒業	
							後期	給食経営管理実習Ⅱ 臨地実習ⅠA 臨地実習ⅠB 給食経営管理実習Ⅰ					9.6	2.0	2.0				9.6
									計	4.0			13.6	9.6	17.6	9.6			
准教授	みねお ひとし 峯尾 仁	男	51	2008.4.1	2008.4.1	健康栄養	前期	食品衛生学実験					12.0		12.0		12.0	無	東北大学大学院農学研究科 修士課程修了 修士農学
							後期	食品科学 食品衛生学		8.0	4.0					8.0			
									計		12.0		12.0		12.0	12.0			

講師	いもと よしひろ 井本 佳宏	男	31	2008. 4. 1	2008. 4. 1	健康栄養	前期	教育行政論 教育実習(中学・高等学校) 現代の教育	2.0 2.0 2.0				2.0			2.0			9.0	無	東北大学大学院教育学研究科 博士課程修了 教育学博士
							後期	教育原理論(教育学概論) 教育課程概論 教育学 教育原理論 総合演習	2.0 4.0 2.0 2.0					2.0		2.0					
計								4.0	10.0			2.0	2.0		6.0	12.0					
講師	きとう ひろこ 木藤 宏子	女	53	2005. 4. 1	2005. 4. 1	健康栄養	前期	管理栄養士活動演習 I 臨地実習 I A・I B 臨地実習 I B 栄養教育実習 卒業研究			8.0			2.0		2.0			13.0	無	東京家政大学家政学部栄養学 科管理栄養士専攻卒業
							後期	栄養教育論 I 卒業研究	8.0	2.0		2.0				8.0	2.0				
計								8.0	10.0	2.0	6.0		16.0	10.0							
講師	さいとう いくこ 齋藤 郁子	女	64	2005. 4. 11	2005. 4. 11	健康栄養	前期	ライフステージ 栄養学 II 応用栄養学実習 卒業研究	8.0				4.8		8.0	4.8	2.0		14.5	無	佛教大学社会福祉学科(通信 課程)卒業
							後期	応用栄養学 ライフステージ 栄養学 I 卒業研究	4.2 8.0	2.0		2.0			4.2	8.0	2.0				
計								8.0	12.2	2.0	2.0	4.8		14.8	14.2						
講師	さかもと めぐみ 坂本 恵	女	48	2003. 4. 1	2003. 4. 1	健康栄養	前期	調理科学 調理科学実験 調理科学実習	1.3				1.6		1.3	1.6	4.8		6.2	無	日本女子大学 家政学部(通 信教育課程) 食物学科卒業
							後期	基礎調理実習					4.7		4.7						
計								1.3				6.4	4.7	7.7	4.7						

講師	すずき じゅんこ 鈴木 純子	女	44	2005. 4. 1	2005. 4. 1	健康栄養	前期	臨床栄養学Ⅱ 栄養療法演習 卒業研究	8.0		5.3 2.0			8.0 5.3 2.0	13.2	無	北海道大学教育学研究科修士 課程修了 教育学修士	
							後期	食事療法論 栄養療法実習 卒業研究		2.6			6.4	2.6 6.4 2.0				
計								8.0	2.6	7.3	2.0		6.4	15.3	11.0			
講師	てじま てつこ 手嶋 哲子	女	52	2005. 4. 1	2005. 4. 1	健康栄養	前期	公衆栄養学実習					10.4		10.4	10.2	無	旭川大学女子短期大学部家政 科食物栄養専攻卒業
							後期	地域栄養活動論 臨地実習Ⅲ		8.0				2.0 2.0				
計									8.0			10.4	2.0	10.4	10.0			
講師 (特嘱)	にしお くみこ 西尾 久美子	女	61	2007. 4. 1	2007. 4. 1	健康栄養	前期	臨地実習ⅡB 応用栄養学実習					2.0 4.8		2.0 4.8	9.6	無	天竺短期大学食物栄養科卒業
							後期	応用栄養学 食事療法論 栄養療法実習		3.8 5.4				3.2 3.2				
計									9.2			6.8	3.2	6.8	12.4			
講師 (特嘱)	すがわら ちずこ 菅原 千鶴子	女	61	2009. 4. 1	2009. 4. 1	健康栄養	前期	公衆栄養学 栄養教育論総論 公衆栄養学実習	4.0 0.7					1.6	4.0 0.7 1.6	8.2	無	藤女子大学大学院人間生活研 究科修士課程修了 修士（食物栄養学）
							後期	地域栄養活動論 臨地実習Ⅲ		8.0				2.0 2.0				
計								4.7	8.0			1.6	2.0	6.3	10.0			
講師 (特嘱)	すぎむら るみこ 杉村 留美子	女	35	2007. 4. 1	2007. 4. 1	健康栄養	前期	調理科学 調理科学実験 調理科学実習	0.7					1.6 4.8	0.7 1.6 4.8	7.9	無	北海道教育大学大学院教科教 育専攻修了 家政教育学修士
							後期	基礎調理実習 栄養教育演習					8.0	0.7 8.0				
計								0.7			8.0	6.4	0.7	7.1	8.7			

教授	あおき まもる 青木 藩	男	68	2006.4.1	2006.4.1	理学療法	前期	生理学Ⅱ 生理学実習 神経科学の基礎 卒業研究	1.0		2.0		4.8		2.0		6.9	無	北海道大学医学研究科博士課程修了 医学博士			
							後期	生理学 卒業研究		2.0				2.0		2.0						
							計	1.0	2.0	4.0	2.0	4.8		9.8	4.0							
教授	きつない いさむ 橘内 勇	男	56	2005.10.1	2006.4.1	理学療法	前期	理学療法概論 物理療法学 物理療法学実習 基礎運動療法学 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法実習 総合臨床実習Ⅱ 卒業研究	1.0				2.4		1.0		10.7	無	旭川大学経済学部経済学科卒業 経済学士			
							後期	理学療法管理学 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法技術セミナーⅡ 見学実習 卒業研究		0.3	2.0		2.0		2.0					0.3		
							計	4.2	0.3	2.0	6.0	6.8	2.0	13.0	8.3							
							前期	医療と福祉 卒業研究	1.0		2.0				1.0					2.0		
							後期	整形外科学 リハビリテーション医学 義肢装具学 義肢装具学実習 卒業研究		2.0		1.0				2.4					2.0	
							計	1.0	4.1	2.0	2.0		2.4	3.0	8.5							

教授	まつおか しんじ 松岡 審爾	男	51	2006.4.1	2006.4.1	理学療法	前期	コンピュータ入門 物理学	2.0		14.0				14.0		11.0	無	京都大学理学研究科博士課程 単位取得退学 理学博士
							後期	コンピュータテラシー			6.0			6.0					
							計		2.0		14.0	6.0		16.0	6.0				
教授	まつもと ひろゆき 松本 博之	男	68	2006.4.1	2006.4.1	理学療法	前期	病態・治療Ⅰ 内科学 高次脳機能障害学 卒業研究	2.0		2.0				2.0		6.5	無	札幌医科大学医学研究科修了 医学博士
							後期	老年看護学健康論 神経内科学 卒業研究		2.0		0.9			0.9				
							計		4.0	2.0	4.0	2.9		8.0	4.9				
教授	みやもと しげのり 宮本 重範	男	67	2007.4.1	2007.4.1	理学療法	前期	運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法実習 卒業研究	1.3		2.0		2.4		1.3		8.7	無	カナダ、マニトバ大学 リハビリテーション医学部理 学療法学科卒業 医学博士
							後期	理学療法管理学 理学療法研究法 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ 理学療法技術セミナーⅠ 評価実習Ⅱ 卒業研究		0.8		0.8			0.8				
							計		1.3	1.6	2.0	8.0	2.4	2.0	5.7	11.6			
教授	わかばやし じゅんいち 若林 淳一	男	65	2006.4.1	2006.4.1	理学療法	前期	病理学 解剖学実習 卒業研究	4.0		2.0		2.4		4.0		5.7	無	札幌医科大学 医学研究科修了 医学博士
							後期	病理学 卒業研究		1.0					1.0				
							計		4.0	1.0	2.0	2.0	2.4		8.4	3.0			

准教授	おおもり けい 大森 圭	男	42	2006. 4. 1	2006. 4. 1	理学療法	前期	運動学	1. 1					1. 1	9. 9	無	札幌医科大学保健医療学研究 科修士課程修了 理学療法士修士
								理学療法評価学	1. 1				1. 1				
								物理療法学実習			2. 4		2. 4				
								卒業研究		2. 0			2. 0				
							後期	理学療法評価学実習				2. 8	2. 8				
								運動学実習				4. 8	4. 8				
								理学療法研究法	0. 2				0. 2				
								評価実習 I				2. 0	2. 0				
								理学療法技術セミナーⅢ			1. 3		1. 3				
								卒業研究			2. 0		2. 0				
								計	2. 2	0. 2	2. 0	3. 3	2. 4	9. 6	6. 6	13. 1	
准教授	さいとう まさみ 齋藤 正美	男	42	2006. 4. 1	2006. 4. 1	理学療法	前期	高齢者理学療法学	1. 0					1. 0	4. 5	無	東洋大学法学部法律学科通信 教育課程卒業 学士（法学）
								地域理学療法学	1. 0				1. 0				
								卒業研究		2. 0			2. 0				
							後期	理学療法研究セミナー I			2. 0		2. 0				
								地域理学療法学演習			1. 0		1. 0				
								卒業研究			2. 0		2. 0				
								計	2. 0		2. 0	5. 0	4. 0	5. 0			
准教授	むらかみ まさひと 村上 雅仁	男	39	2007. 4. 1	2008. 4. 1	理学療法	前期	基礎運動療法学	0. 5				0. 5	4. 6	無	神戸大学大学院医学系研究科 修士課程修了 保健学修士	
								内部障害理学療法学	0. 9				0. 9				
								内部障害理学療法実習			2. 4	2. 4					
							後期	義肢装具学		0. 9			0. 9				
								義肢装具学実習				2. 4	2. 4				
								理学療法研究セミナー I			2. 0		2. 0				
								計	1. 4	0. 9		2. 0	2. 4	2. 4	3. 8	5. 3	
准教授	よこい ゆういちろう 横井 裕一郎	男	40	2007. 4. 1	2007. 4. 1	理学療法	前期	理学療法評価学	0. 7				0. 7	8. 2	無	放送大学教養学部卒業 学士（教養）	
								卒業研究		2. 0			2. 0				
							後期	発達障害理学療法学		2. 0			2. 0				
								発達障害理学療法実習				6. 0	6. 0				
								理学療法研究セミナー I			2. 0		2. 0				
								理学療法評価学実習				1. 6	1. 6				
								卒業研究			2. 0		2. 0				
								計	0. 7	2. 0	2. 0	4. 0	7. 6	2. 7	13. 6		

講師	いけの ひでのり 池野 秀則	男	48	2008.4.1	2008.4.1	理学療法	前期	総合臨床実習Ⅰ 解剖学実習 卒業研究			2.0		2.0		8.0	無	札幌医科大学保健医療学研究 科修士課程修了 理学療法士			
							後期	理学療法研究セミナーⅠ 卒業研究			2.0		2.0					2.0		
							計			2.0	4.0	10.0		12.0				4.0		
講師	しらはた ともひろ 白幡 知尋	男	39	2006.4.1	2006.4.1	理学療法	前期	内部障害理学療法学 内部障害理学療法実習 日常生活活動学実習 運動学 卒業研究	1.1				2.4		1.1		7.7	無	放送大学教養学部（生活と福 祉専攻）卒業 学士（教養）	
							後期	理学療法研究セミナーⅠ 運動学実習 卒業研究	0.9		2.0		2.0		2.0					2.0
							計		2.0		2.0	4.0	5.0	2.4	9.0	6.4				
講師	にしむら ゆか 西村 由香	女	35	2006.4.1	2006.4.1	理学療法	前期	理学療法評価学 日常生活活動学実習 卒業研究	0.5		2.0		3.4		0.5		8.7	無	札幌医科大学保健医療学研究 科修士課程修了 理学療法士	
							後期	病態運動学 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学実習 理学療法評価学実習 理学療法研究セミナーⅠ 卒業研究		1.0					1.0					1.0
							計		0.5	1.9	2.0	4.0	3.4	5.6	5.9	11.5				
教授	いけだ ひろし 池田 官司	男	48	2007.4.1	2007.4.1	作業療法	前期	精神医学	1.0					1.0		2.2	無	札幌医科大学大学院医学研究 科博士課程修了 医学博士		
							後期	カウンセリング技法 公衆衛生学 臨床心理学				2.0			2.0					1.0
							計		1.0	1.3		2.0			1.0				3.3	

教授	きむら こういち 木村 浩一	男	50	2007.4.1	2007.4.1	作業療法	前期	解剖学実習					2.4		2.4	5.2	無	札幌医科大学大学院医学研究科博士課程修了 医学博士	
								生理学実習					3.0		3.0				
							後期	生理学Ⅰ				1.0							1.0
								感染症概論				2.0							2.0
										2.0									
												5.0		5.4		5.0			
教授	ふかざわ よしかつ 深澤 孝克	男	72	2007.4.1	2007.4.1	作業療法	前期	作業療法総論Ⅱ	1.0						1.0	5.9	無	北海道大学医学部附属看護学校卒業	
								精神障害作業療法治療学	1.5					1.5					
								精神障害作業療法治療学特論	2.0					2.0					
							後期	臨床心理学				0.3			0.3				
								作業療法概論Ⅱ				1.3			1.3				
								精神障害作業療法治療学演習					1.6		1.6				
								見学実習						2.0	2.0				
								評価実習						2.0	2.0				
											4.5	1.6		1.6		4.0	4.5	7.2	
教授	わたなべ あすか 渡辺 明日香	女	54	2007.10.1	2007.10.1	作業療法	前期	リハビリテーション概論	2.0						2.0	7.3	無	北海道大学大学院教育学研究科博士課程修了 教育学博士	
								作業療法概論Ⅰ	2.0					2.0					
								身体障害作業療法治療学Ⅰ	2.0					2.0					
								身体障害作業療法治療学演習				1.2		1.2					
								作業療法研究セミナーⅡ				2.0		2.0					
							後期	言語障害治療学				0.4		0.4					
								作業療法総論Ⅰ				1.0		1.0					
								身体障害作業療法治療学Ⅱ				2.0		2.0					
								身体障害作業療法治療学特論				2.0		2.0					
准教授	おくむら のりひさ 奥村 宣久	男	48	2008.4.1	2008.4.1	作業療法	前期	基礎作業学演習Ⅰ				1.6			1.6	5.5	無	札幌医科大学大学院保健医療学研究科修士課程修了 作業療法学修士	
								作業療法評価学Ⅱ	2.0					2.0					
								精神障害作業療法治療学	0.5					0.5					
								地域作業療法Ⅰ	2.0					2.0					
								地域作業療法Ⅱ	1.5					1.5					
							後期	精神障害作業療法治療学演習					0.4	0.4					
								作業療法管理運営・法規				1.0		1.0					
								地域作業療法学演習					2.0	2.0					
											6.0	1.0	1.6	2.4		7.6	3.4		

准教授	むかい せいこ 向井 聖子	女	53	2007.1.1	2007.4.1	作業療法	前期	基礎作業学Ⅰ 高齢期作業療法治療学演習 日常生活適応学	1.0 0.5		2.0				1.0 2.0 0.5		4.8	無	札幌医科大学大学院保健医療学 研究科修士課程修了 作業療法学修士
							後期	高齢期作業療法治療学 高齢期作業療法治療学特論 作業療法理論 見学実習		2.0 1.0 1.0				2.0	2.0				
計									1.5	4.0	2.0			2.0	3.5	6.0			
講師	おおかわ ひろこ 大川 浩子	女	39	2007.4.1	2007.4.1	作業療法	前期	発達障害作業療法治療学 作業療法研究Ⅰ-Ⅰ	2.0		2.0				2.0 2.0		5.5	無	札幌医科大学大学院保健医療学 研究科修士課程修了 作業療法学博士
							後期	基礎作業学Ⅱ 作業療法評価学実習 発達障害作業療法治療学演習 作業療法研究Ⅱ		1.0 1.0		2.0		3.0	1.0 3.0 2.0 1.0				
計									2.0	2.0	2.0	2.0		3.0	4.0	7.0			
講師	きたじま ひさえ 北島 久恵	女	34	2008.4.1	2008.4.1	作業療法	前期	高次脳神経障害作業療法治療学	2.0						2.0		4.0	無	札幌医科大学大学院保健医療学 研究科修士課程修了 作業療法学修士
							後期	病態運動学 言語障害治療学 基礎作業学演習Ⅱ 作業療法評価学Ⅰ 高次脳神経障害作業療法治療学演習		1.0 0.4 1.0		1.6		2.0	1.0 0.4 1.6 1.0 2.0				
計									2.0	2.4		3.6		2.0	6.0				
助教	なかむら みつお 中村 充雄	男	31	2007.4.1	2007.4.1	作業療法	前期	身体障害作業療法治療学演習 日常生活適応学	0.5		0.8				0.8 0.5		6.2	無	札幌医科大学大学院保健医療学 研究科修士課程修了 作業療法学修士
							後期	運動学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 身体障害作業療法治療学特論 評価実習					3.2 1.6 3.0	3.2 1.6 3.0					
計									0.5	1.2	0.8			9.8	1.3	11.0			

教授	いわた ぎんこ 岩田 銀子	女	65	2008.4.1	2008.4.1	看護	前期 看護学概論	1.0	2.0			2.0	1.0	2.5	無	北海道大学大学院教育学研究科 修士課程修了 教育学博士
							後期 看護倫理									
教授	おおさわ さかえ 大澤 栄	男	53	2008.4.1	2008.4.1	看護	後期 保健・医療概論		2.0			2.0	2.0	3.0	無	大正大学大学院人間学研究科 修士課程修了 人間科学修士
							後期 社会保障・福祉論 精神看護学概論									
教授	こへい ゆかり 小堀 ゆかり	女	46	2007.5.1	2008.4.1	看護	後期 医療安全とリスクマネジメント		1.0				1.0	0.5	無	札幌医科大学大学院 保健医療学 研究科 修士課程 修了 看護学修士
							計									
教授	さかきばら ちさこ 榊原 千佐子	女	47	2008.4.1	2008.4.1	看護	前期 健康社会と福祉	4.0				4.0	2.0	3.0	無	日本福祉大学大学院社会福祉学 研究科 修士課程修了 社会マネジメント修士
							後期 老年看護学概論									
教授	はばら みなこ 羽原 美奈子	女	46	2008.4.1	2008.4.1	看護	後期 地域看護学概論				2.0	2.0	1.0	無	旭川医科大学大学院医学系研 究科 修士課程 看護学修士	
							計									
教授	つじ けいこ 辻 慶子	女	54	2008.10.1	2008.10.1	看護	前期 看護過程論		2.0			2.0	4.0	6.0	無	佐賀大学大学院教育学研究科 修士課程修了 教育学修士
							後期 看護ヘルスアセスメント 生活援助看護技術Ⅰ 基礎看護学実習									
教授	まつもと まき 松本 真希	男	58	2009.4.1	2009.4.1	看護	前期 病態・治療学Ⅱ		2.0			2.0	2.0	2.5	無	札幌医科大学 卒業 医学博士（札幌医科大学）
							後期 成人健康障害論 救急医学									
教授	やじま としひこ 矢嶋 俊彦	男	66	2008.4.1	2008.4.1	看護	前期 解剖学	6.0			0.4	6.0	0.4	6.1	無	新潟大学大学院理学研究科 修士課程修了 理学修士 医学博士（新潟大学）
							後期 解剖学実習 解剖学Ⅰ 解剖生理学実験									
准教授	いづみさわ まき 泉澤 真紀	女	44	2007.9.1	2008.4.1	看護	前期 生活援助看護技術Ⅱ		4.0			4.0	2.0	3.0	無	La Trobe University Faculty of Health Sciences School of Nursing and Midwifery 卒業 看護学修士
							後期 基礎看護学実習									
							計		4.0			2.0	4.0	2.0		

准教授	ながた よしえ 長多 好恵	女	54	2009.4.1	2009.4.1	看護	前期 公衆衛生学 疫学と環境	2.0					2.0		5.0	無	明治薬科大学薬学部 卒業 博士(医学) (札幌医科大学)
							後期 医療統計学 保健福祉行政論 保健情報科学				2.0			2.0			
計								4.0			6.0		4.0	6.0			
准教授	ながたに ともえ 永谷 智恵	女	52	2009.4.1	2009.4.1	看護	後期 小児看護学概論				2.0			2.0	1.0	無	旭川医科大学大学院医学系研 究科修士課程修了 修士(看護学)
							計				2.0			2.0			
講師	さかた ともこ 坂田 朋子	女	44	2008.4.1	2008.4.1	看護	後期 健康教育論				2.0			2.0	1.0	無	仏教大学社会学部社会福祉学 科 卒業(通信科) 学士(社会福祉学)
							計				2.0			2.0			
講師	しげの かずえ 滋野 和恵	女	48	2008.4.1	2008.4.1	看護	後期 マンタルヘルスと看護				2.0			2.0	1.0	無	北海道大学大学院教育学研究 科 修士課程修了 教育学修士
							計				2.0			2.0			
講師	でむら ゆりこ 出村 由利子	女	55	2009.4.1	2009.4.1	看護	前期 看護学概論			2.0			2.0	2.5	無	札幌医科大学大学院保健医療 学研究科修士課程修了 修士(看護学)	
							看護倫理					1.0					
							後期 母性看護学概論				2.0						2.0
計								1.0		2.0	2.0		3.0	2.0			
助教	おかもと れいこ 岡本 麗子	女	34	2009.4.1	2009.4.1	看護	前期 医療環境と看護技術			2.2			2.2	1.6	無	北海道医療大学大学院看護福 祉学研究科修士課程修了 修士(看護学)	
							後期 老年看護学健康論				1.0						1.0
							計				2.2	1.0					2.2
助教	たかい なつこ 高井 奈津子	女	38	2008.4.1	2008.4.1	看護	後期 成人看護学援助論 I				2.0			2.0	1.0	無	小樽商科大学商学部 卒業 学士(商学)
							計				2.0			2.0			
助教	はやさか ひさみ 早坂 寿美	女	42	2009.4.1	2009.4.1	看護	なし							0.0	無	札幌国際大学大学院心理学研 究科修士課程修了 修士(臨床心理学)	
							計										
助教	まえがき あやこ 前垣 綾子	女	56	2008.4.1	2008.4.1	看護	前期 医療環境と看護技術			1.8			1.8	0.9	無	創価大学教育学部(通信教 育)卒業 学士(教育学)	
							計				1.8						1.8

[注]1. 「IV 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成すること。ただし、大学附置研究所、

学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載すること。

- 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には▲印を付すこと。
- 「授業科目」欄については、セメスター制の場合を例示しているが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入すること。
- 毎週授業時間数は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入すること(例えば1コマ90分の場合は、2時間)。
- 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出すること。
- 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入すること。
- 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入すること。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
外国語学部	教授	4	4	2	2	3	0	0	0	0	0	15	
		26.7%	26.7%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	0	2	0	5	1	0	0	0	8	
		0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100%	
学部計	4	4	2	4	3	5	1	1	1	0	25		
	16.0%	16.0%	8.0%	16.0%	12.0%	20.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	100%		
人間科学部	教授	4	6	5	3	8	5	0	0	0	0	31	
		12.9%	19.4%	16.1%	9.7%	25.8%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	0	0	5	1	3	3	0	0	12	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	8.3%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100%	
	専任講師	0	0	3	0	3	3	2	2	4	0	17	
		0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	17.6%	17.6%	11.8%	11.8%	23.5%	0.0%	100%	
学部計	4	6	8	4	16	9	6	6	6	6	0	65	
	6.2%	9.2%	12.3%	6.2%	24.6%	13.8%	9.2%	9.2%	9.2%	9.2%	0.0%	100%	
大学合計		8	10	10	8	19	14	7	7	7	0	90	
		8.9%	11.1%	11.1%	8.9%	21.1%	15.6%	7.8%	7.8%	7.8%	0.0%	100%	
定年		： 教授 68歳、 准教授・講師 65歳											

[大学の注] 学部開設時の特例あり。

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下端にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間（前期）

外国語学部（24人） *「管理運営担当の准教授1名を除く。」 (表22)

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	16.0 授業時間	16.0 授業時間	16.0 授業時間		1 授業時間 45分
最 低	4.0 授業時間	14.0 授業時間	14.0 授業時間		
平 均	11.5 授業時間	15.1 授業時間	15.0 授業時間		
責任授業時間数	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)		

人間科学部（58人） *「新設学科で授業が開講されていない教授2名、准教授1名、講師2名、助教2名を除く。」 (表22)

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	16.0 授業時間	17.6 授業時間	16.0 授業時間	2.2 授業時間	1 授業時間 45分
最 低	1.0 授業時間	2.7 授業時間	2.0 授業時間	1.3 授業時間	
平 均	7.5 授業時間	7.2 授業時間	8.4 授業時間	1.8 授業時間	
責任授業時間数	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作業をお願いしていますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表に含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数が合わない理由を（*1）に付記してください。

（記入例：*1「サバティカル取得中の教授1名を除く」）

- 「IV 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。

- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「－」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

4 専任教員の担当授業時間（後期）

外国語学部（24人） *「管理運営担当の准教授1名を除く。」 (表22)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	18.0 授業時間	16.0 授業時間	16.0 授業時間		1 授業時間 45分
最低	2.0 授業時間	12.0 授業時間	16.0 授業時間		
平均	11.9 授業時間	13.8 授業時間	16.0 授業時間		
責任授業時間数	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)		

人間科学部（62人） *「新設学科で授業が開講されていない教授1名、助教2名を除く。」 (表22)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	18.0 授業時間	14.4 授業時間	14.2 授業時間	11.0 授業時間	1 授業時間 45分
最低	1.0 授業時間	2.0 授業時間	2.0 授業時間	1.0 授業時間	
平均	6.8 授業時間	7.7 授業時間	7.9 授業時間	4.7 授業時間	
責任授業時間数	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	(14.0 授業時間)	

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作業をお願いしていますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表に含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数が合わない理由を（*1）に付記してください。

（記入例：*1「サバティカル取得中の教授1名を除く」）

2 「IV 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。

- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「-」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
外国語学部	最低	1,522,240	5,630,960	6,360,509	—
	平均	7,768,874	7,557,779	6,360,509	—
人間科学部	最低	1,702,560	7,104,329	2,777,440	4,914,315
	平均	7,515,281	8,108,113	6,143,803	4,914,315

- [注] 1 本「大学基礎データ」作成前年(2008年)1月から12月の1年間を対象として作成してください。
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。
 3 原則として「IV 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成してください。
 4 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室 等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備 考
外国語学部	4,031,273	4,031,273	23	175,273	175,273	予算：教員1人当たり配分額 @230,000 (ただし、特任等教員については、 教員1人当たり配分額 @100,000)
人間科学部	13,025,374	13,025,374	58	224,575	224,575	
計	17,056,647	17,056,647	81	210,576	210,576	

- [注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、（表34）と一致します。

※ 本学の規程上、個人研究旅費を個人研究経費に充てる事が可能である。（但し、逆は不可）

この調査票の場合、研究費として使用した額を記載するのが適当と判断し、総額(A)/(B)ともに研究旅費から流用した額も計上している。

4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
外国語学部	総 額	—	—	—	—	128,265	895,800	教授、准教授、講師 120,000 特任、助手 60,000 専任教員数 23人
	支 給 件 数	—	—	—	—	2	14	
人間科学部	総 額	—	—	—	—	120,000	5,132,870	教授、准教授、講師 120,000 特任、助手 60,000 専任教員数 58人
	支 給 件 数	—	—	—	—	1	97	
計	総 額	—	—	—	—	248,265	6,028,670	専任教員数 81人
	支 給 件 数	—	—	—	—	3	111	

[注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

備考欄の専任教員数には各々 23人、58人と記載したが、現実には特別嘱託として雇用している教員には研究旅費が支給されていない。

5 学内共同研究費

(表31)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
外国語学部	0	0	
人間科学部	0	0	
計	0	0	

- [注]
- 1 2008年度の実績を記入してください。
 - 2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
 - 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
 - 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表32）中の学内共同研究費の合計と一致します。

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
外国語学部	研究費総額	6,760,788	100.0%	7,480,458	100.0%	5,900,338	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	6,760,788	100.0%	6,480,458	86.6%	5,055,338	85.7%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	0	0.0%	1,000,000	13.4%	845,000	14.3%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%		0.0%		0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
人間科学部	研究費総額	8,905,053	100.0%	13,861,043	100.0%	19,313,244	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	8,905,053	100.0%	12,261,233	88.5%	18,278,244	94.6%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	0	0.0%	1,400,000	10.1%	1,035,000	5.4%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	199,810	1.4%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2006年度			2007年度			2008年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
外国語学部	1	1	100.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%
人間科学部	2	0	0.0%	2	0	0.0%	8	0	0.0%
計	3	1	33.3%	3	0	0.0%	8	0	0.0%

- [注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバー ヘッドの額	その他の学外研究 費総額 (B)	うちオーバー ヘッドの額	
外国語学部	#REF!	845,000	195,000	0	0	845,000
人間科学部	#REF!	1,035,000	225,000	0	0	1,035,000
合 計	#REF!	1,880,000	420,000	0	0	1,880,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数を記入してください。〈助手を除く〉
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。
- 4 本表における専任教員数は、2008年度の教員数であり、(表29) 及び (表30) と一致します。

9 教員研究室

(表35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率 (%) (A/B*100)	教員1人当た りの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
外国語学部	22	1	23	558.8	24.3	23.8	25	88.0%	22.4	2 (海老子・新田氏研究室なし) 1 (空室)
人間科学部	50	9	59	1,363.2	20.2	39.0	65	76.9%	21.0	
予備	10	0	10	197.6	19.8	0	0	—	19.8	
計	82	10	92	2,119.6	21.3	37.5	90	91.1%	21.4	(予備室を除いた 教員1人当たりの平均面積)

[注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。

2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

VI 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
97,132m ²	19,600m ²	24,706m ²	19,900m ²	58	7,399m ²

[注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。

3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
図書館・研究棟	図書館及び研究室等	平成10(1998)年	3,288.1	
2号館 3号館 大学会館	講義室・研究室・実習室等	平成10(1998)年	6,922.7	理学療法学科新設のため講義室より実習に一部変更(平成18年)
5号館	実習室等	平成14(2002)年	1,577.6	作業療法学科、看護学科新設のため講義室より実習室に変更(平成19年・20年)
体育館	体育館等	平成10(1998)年	2,415.2	
1号館	講義室・研究室・実習室・実験室	昭和63(1988)年	5,556.9	栄養士養成施設→管理栄養士施設に変更により改修(平成15年)
本館(6号館)	講義室・研究室 学園本部事務局 国際交流ホール等	平成20(2008)年	6,603.7	

[注]1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 り面積(m ²) (A/B)	備考
外国語学部	講義室	30	3,180	共用	2,671	1,758	1.81	人間科学部(学生数1331)と共用
	演習室	1 3	172 488	専用 共用	50 290	427	0.40 1.14	(CL-1, CL-2, CL-3, LL)
	学生自習室	1	147	共用	62	427	0.34	他に図書館(186席)を利用 不足分は空き講義室を併用利用
人間科学部	講義室	30	3,180	共用	2,671	1,758	1.81	外国語学部(学生数427)と共用
	演習室	3	488	共用	290	1,331	0.37	(CL-1, CL-2, CL-3, 外国語学部と共用)
	学生自習室	1	147	共用	62	1,331	0.11	他に図書館(186席)及び実習食堂(180席健康栄養学科のみ)を利用 不足分は空き講義室を併用利用
グローバル コミュニケーション 研究科	講義室	1	56	共用	10	19	2.95	
	演習室	1	172	共用	10	19	9.05	(LL 外国語学部と共用)
	学生自習室	1	30	専用	10	19	1.58	
全学 共通	体育館	1	2,415	共用				

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数(短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む)で総面積を除いて算出してください。

【参考】 2009. 5. 1	収容定員 在籍学生数(利用学生)	
外国語学部	560人	427人
人間科学部	1,200人	1,331人
大学院研究科	10人	19人

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
コンピューター教室 (CL-1)	1	172	60	2.9	外国語学部・人間科学部	
コンピューター教室 (CL-2)	1	170	60	2.8	外国語学部・人間科学部	
コンピューター教室 (CL-3)	1	146	40	3.7	外国語学部・人間科学部	
コンピューター教室 (LL)	1	172	60	2.9	外国語学部・大学院 (グローバル コミュニケーション研究科)	
給食経営管理実習室	1	197	40	4.9	人間科学部	
実習食堂	1	220	165	1.3	人間科学部	
栄養教育実習室	1	82	40	2.1	人間科学部	
臨床栄養実習室	1	123	40	3.1	人間科学部	
調理実習室	1	194	40	4.9	人間科学部	
食品加工実習室	1	178	40	4.5	人間科学部	
第1実験室	1	149	40	3.7	人間科学部	
第2実験室	1	149	40	3.7	人間科学部	
第3実験室	1	84	40	2.1	人間科学部	
日常動作訓練室	1	119	40	3.0	人間科学部	
治療室	1	160	40	4.0	人間科学部	
PT装具加工実習室	1	98	40	2.5	人間科学部	
機能訓練実習室	1	239	40	6.0	人間科学部	
水治療実習室	1	53	40	1.3	人間科学部	
基礎医学実習室	1	165	40	4.1	人間科学部	
(次ページへ続く)						

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
日常動作生活訓練実習室	1	42	40	1.1	人間科学部	
織物・手工芸・絵画実習室	1	117	40	2.9	人間科学部	
陶芸・木工実習室	1	186	40	4.7	人間科学部	
基礎看護学実習室	1	199	40	5.0	人間科学部	
成人・老年看護学実習室	1	159	40	4.0	人間科学部	
母性・小児看護学実習室	1	199	40	5.0	人間科学部	
地域在宅看護学 保健師養成所 } 実習室	1	159	40	4.0	人間科学部	
レクリエーション・治療室	1	141	40	3.5	人間科学部	
計	27	4,072	1,265	3.2		

- [注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。
- 2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。
- 3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。
- 4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。
- 5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。
- 6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・大学院研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。
- 7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

5 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表（前期）

（表40）

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
外国語学部	21 ～ 30	6	173	72	41.6%	
	41 ～ 50	3		7	4.0%	
	51 ～ 60	4		24	13.9%	
	61 ～ 80	5		49	28.3%	
	121 ～ 130	2		8	4.6%	
	201 ～ 400	2		12	6.9%	
	401 ～	1		1	0.6%	
計		23		173	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
人間科学部	41 ～ 50	5	216	55	25.5%	
	51 ～ 60	3		22	10.2%	
	61 ～ 80	4		27	12.5%	
	121 ～ 130	2		36	16.7%	
	201 ～ 400	2		59	27.3%	
	401 ～	1		17	7.9%	
計		17		216	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
グローバルコミュニケーション研究科	1 ～ 20	1	10	7	70.0%	
	41 ～ 60	2		2	20.0%	
	71 ～ 80	1		1	10.0%	
計		4		10	100.0%	

[注] 1 原則として学部ごとに作成すること。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目数を示す。なお、使用率は、 $(\text{使用度数} / \text{総授業時数})$ により算出してください。

例えば、「英語 I」をそれぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

5 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表（後期）

教務学生課担当

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
外国語学部	21 ～ 30	6	171	90	52.6%	
	41 ～ 50	8		23	13.5%	
	51 ～ 60	3		9	5.3%	
	61 ～ 80	5		30	17.5%	
	90 ～ 100	2		7	4.1%	
	121 ～ 130	2		10	5.8%	
	401 ～	1		2	1.2%	
計		27		171	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
人間科学部	41 ～ 50	7	270	83	30.7%	
	51 ～ 60	3		46	17.0%	
	61 ～ 80	4		23	8.5%	
	91 ～ 100	2		13	4.8%	
	121 ～ 130	2		9	3.3%	
	201 ～ 400	2		39	14.4%	
	401 ～	2		57	21.1%	
計		22		270	100.0%	

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数	使用度数	使用率 (%)	備 考
グローバルコミュニケーション研究科	1 ～ 20	1	9	9	100.0%	
計		1			9	100.0%

[注] 1 原則として学部ごとに作成すること。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目数を示す。なお、使用率は、(使用度数/総授業時数)により算出してください。
例えば、「英語Ⅰ」をそれぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

VII 図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2006年度	2007年度	2008年度	
鶴岡記念図書館 本館	91,231	91,231	200	85	4,690	700	3,899	4,245	3,236	
分館	66,535	59,000	89	11	3,973	—	1,197	800	733	電子ジャーナル：本館で一括管理
計	157,766	150,231	289	96	8,663	700	5,096	5,045	3,969	

- [注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。
 2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。
 3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。
 4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館日 数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸し出し冊数			備 考
					2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
鶴岡記念図書館 本館	4 (4)	2 (2)	247	月～金 9:00～20:00	7008人	6979人	7823人	14528冊	14641冊	16127冊	非常勤スタッフ数 に下記授業期パート 職員を含む 平日3時間:1名 土曜4時間:1名 ※利用者数は貸出者 数とする
				土 9:00～13:00	(学生6165人 教職員 843人)	(学生6048人 教職員 931人)	(学生6820人 教職員 1003人)	(学生12592冊 教職員 1936冊)	(学生12359冊 教職員 2282冊)	(学生13527冊 教職員 2600冊)	
				日祭日 : ~ :							
				長期休暇中 9:00～17:00							
分館	2 (2)	0 (0)	218	月～金(4-10月) 9:00～18:00	1996人	1562人	1101人	6025冊	4711冊	4320冊	
				月～金(11-3月) 9:00～17:30	(学生1711人 教職員 285人)	(学生1411人 教職員 151人)	(学生955人 教職員 146人)	(学生5262冊 教職員 763冊)	(学生3995冊 教職員 716冊)	(学生3379冊 教職員 941冊)	
				土 : ~ :							
				日祭日 : ~ :							
			長期休暇中 9:00～17:00								

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
 2 年間利用者数・貸出し冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めなくて、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸し出し冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室 の座席数 ()	備 考
鶴岡記念図書館 本 館	186	1,795	10.4%	(0)	学部学生1760名、大学院学生10名 別科生25名
分館	55	220	25.0%	(0)	短期大学部学生220名
計	241	2,015	12.0%	(0)	

[注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。

2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。

3 「備考」欄には学生収容定員（B）の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VIII 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

大学生

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額(C)	1件当たり支給額 C/A
独立行政法人日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	136	1,538	8.8%	88,782,000円	652,809円
独立行政法人日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	541	1,538	35.2%	457,080,000円	844,880円
あしなが育英会	学外	貸与	3	1,538	0.2%	1,560,000円	520,000円
北海道看護師等養成修学資金	学外	貸与	4	1,538	0.3%	1,536,000円	384,000円
北海道看護協会奨学資金	学外	貸与	1	1,538	0.1%	360,000円	360,000円
青森県奨学生	学外	貸与	1	1,538	0.1%	300,000円	300,000円
北海道文教大学及び北海道文教大学短期大学部奨学金	学内	給付	2	1,538	0.1%	960,000円	480,000円
鶴岡学園冠奨学金	学内	貸与	2	1,538	0.1%	635,000円	317,500円

大学院学生

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額(C)	1件当たり支給額 C/A
独立行政法人日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	0	19	0.0%	0円	0円
独立行政法人日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	0	19	0.0%	0円	0円

[注] 1 2008年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2006年度	2007年度	2008年度	
カウンセリングルーム	3	0	0	4～15	10:00 ～ 12:00	4	11	15	医師1名 教員2名 (ケースバイケース で対応)
					13:00 ～ 15:00				
					16:00 ～ 17:00				

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

(表46)

	比 率	算 式 (*100)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	58.0 %	55.9 %	52.4%	47.1%	56.6 %	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	79.2 %	72.1 %	64.6%	65.0%	70.4 %	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	26.1 %	27.1 %	26.8%	23.1%	25.0 %	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.3 %	7.1 %	6.3%	8.7%	8.0 %	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.4 %	0.3 %	0.2%	0.1%	0.0 %	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.0 %	9.4 %	13.9%	20.9%	10.2 %	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	91.0 %	90.6 %	86.1%	79.2%	89.8 %	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	101.2 %	101.5 %	98.1%	130.3%	109.6 %	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	73.2 %	77.4 %	81.2%	72.6%	80.3 %	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.4 %	0.3 %	0.1%	0.3%	0.3 %	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	19.7 %	17.7 %	15.0%	22.8%	12.1 %	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	10.0 %	10.7 %	12.3%	39.2%	18.0 %	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	12.3 %	12.7 %	12.6%	12.1%	12.3 %	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作表してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

(表46-2)

	比 率	算 式 (* 1 0 0)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	50.7 %	52.2 %	45.7%	44.7%	47.2 %	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	58.4 %	59.4 %	51.0%	49.4%	51.6 %	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	30.2 %	27.9 %	26.2%	24.9%	25.1 %	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.3 %	5.4 %	4.6%	4.8%	4.8 %	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.3 %	0.2 %	0.1%	0.0%	0.0 %	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	13.0 %	14.1 %	23.0%	25.4%	22.6 %	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	87.0 %	85.9 %	77.0%	74.6%	77.4 %	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	90.9 %	90.7 %	78.9%	75.5%	100.7 %	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	86.8 %	87.9 %	89.5%	90.5%	91.5 %	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.3 %	0.3 %	0.0%	0.4%	0.3 %	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	11.3 %	9.8 %	8.0%	6.0%	5.8 %	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.3 %	5.3 %	2.4%	1.2%	23.1 %	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	17.3 %	15.5 %	16.1%	15.2%	15.7 %	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

(表47)

	比 率	算 式 (*100)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	74.8%	72.7%	70.2%	74.9%	75.4%	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	25.2%	27.3%	29.8%	25.1%	24.6%	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	5.2%	4.6%	4.2%	3.6%	3.4%	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	6.6%	7.4%	7.2%	7.2%	6.5%	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	88.2%	88.0%	88.6%	89.2%	90.1%	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	-13.5%	-13.4%	-12.5%	-17.1%	-18.9%	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	84.9%	82.6%	79.2%	84.0%	83.7%	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	80.1%	78.5%	75.6%	80.8%	80.7%	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	380.7%	370.4%	414.9%	347.6%	377.1%	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	11.8%	12.0%	11.4%	10.8%	9.9%	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	13.4%	13.7%	12.8%	12.1%	11.0%	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	456.6%	435.2%	513.8%	385.2%	411.8%	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	30.1%	29.6%	28.4%	31.0%	31.1%	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.3%	98.8%	99.2%	99.8%	99.9%	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	42.2%	43.7%	42.5%	48.4%	43.2%	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入するしてください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

（表48）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							開示請求があれ ば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	
教職員	資金収支計算書		○				○		○
	消費収支計算書		○				○		○
	貸借対照表		○				○		○
	財務状況に関する解説		○				○		○
	その他（財産目録）						○		○
	その他（財務分析3ヵ年）						○		○
	その他（経年比較3ヵ年）						○		○
在学生	資金収支計算書		○				○		○
	消費収支計算書		○				○		○
	貸借対照表		○				○		○
	財務状況に関する解説		○				○		○
	その他（財産目録）						○		○
	その他（財務分析3ヵ年）						○		○
	その他（経年比較3ヵ年）						○		○
卒業生	資金収支計算書		○				○		○
	消費収支計算書		○				○		○
	貸借対照表		○				○		○
	財務状況に関する解説		○				○		○
	その他（財産目録）						○		○
	その他（財務分析3ヵ年）						○		○
	その他（経年比較3ヵ年）						○		○
保護者	資金収支計算書		○				○		○
	消費収支計算書		○				○		○
	貸借対照表		○				○		○
	財務状況に関する解説		○				○		○
	その他（財産目録）						○		○
	その他（財務分析3ヵ年）						○		○
	その他（経年比較3ヵ年）						○		○

社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説						○		
	その他(財産目録)						○		
	その他(財務分析3ヵ年)						○		
	その他(経年比較3ヵ年)						○		
その他 ()	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説						○		
	その他()						○		
	その他()						○		
	その他()						○		

- [注] 1 2008年度決算について2009年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2009年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。